

Art

上海小町
by the River

黄浦江から蘇州河へ
上海アートエリアを巡る

Shanghai

上海市文化和旅游局





黄浦江と蘇州河沿いのアートエリアを
瘦し船で、はしごしよう!

Art Trip

クルーズ船や貨物船が行き交う黄浦江。きっと他の国際都市にはない、
上海の豊かなアートシーンを巡る素晴らしい旅が体験できるに違いない。

『上海小町』別冊 2025
ART by the River

SHANGHAI ART
GUIDE BOOK



発行: 上海市文化和旅游局
編集: 上海ベスト広告 (上海貝絲特广告有限公司)

2025年8月の取材・調査によるものです。発行後に各種データが変更となる可能性がございます。また本書で掲載された内容により生じたトラブルや損害等については当局では補償しかねますので、あらかじめご了承の上、ご利用ください。



黄浦江と蘇州河沿いのアートエリアを 渡し船で、はしごしよう！

- 美術館やギャラリーが密集する西岸美術館アベニュー 7-16
- 外灘・陸家嘴 上海のモダンスカイライン 17-32
- アートが彩る蘇州河周辺 49-58
- 造船場が散策スポットに・楊浦エリア 59-67

特集

歴史建築で楽しむ現代アート・四川中路

- アート&フォトスポット巡り 33-38
- 100年のアート史探訪 39-42
- タイムトラベル・アート散策 43-48

昔と今が交差する上海、黄浦江

ファンブージャン

黄浦江は、青浦区・淀山湖に源を発し、長江河口へと注ぐ上海の大動脈。上海を浦西と浦東の二つのエリアに分け上海の最重要航路として、この街の経済と文化を静かに支えてきました。外灘に佇む歴史ある建築と、陸家嘴のモダンな超高層ビルとが川を挟んで響き合う光景は上海そのもの。朝もやに浮かぶ貨物船、夜景を彩るクルーズの光、そして新しく蘇った「老碼頭」や「楊浦濱江」といったウォーターフロントは記憶を紡ぐ大切な存在として、今日も変わりゆく街の景色を見守り続けています。



芸術探訪

黄浦江から蘇州河へ、
上海アートエリアを巡る。

Art by
The River

SPOT 1 | 美術館やギャラリーが密集する西岸美術館アベニュー

SPOT 2 | 外灘・陸家嘴 上海のモダンスカイライン

SPOT 3 | アートが彩る蘇州河周辺

SPOT 4 | 造船場が散策スポットに・楊浦エリア

上海は歩くだけでアートを楽しめる都市。過去に上海の産業を支えた工場や発電所などを利用したアートスペースに、最先端技術を使用した新しい芸術の形を、環境保全などの観点も取り入れながら世界に発信しています。子供から大人まで、是非たくさんの人に上海を訪れ、あなたの知らない上海を見つけて帰ってほしいのです。そのほんの手助けとして、このガイドブックがお役に立てることを願っております。

Shanghai

Art by the River



上海を南北に貫く黄浦江、その支流の蘇州河。この2本の河には、かつて上海の産業を支えてきた工場・発電所を再利用した美術館やギャラリーが数多く点在する。上海から世界へ発信される芸術の数々。上海小町アート版を持って、渡し船で岸から岸へ。

さあ、芸術の船旅に出発!

油酷芸術公園 /ヨウクーイーシューゴウエン
油酷芸術公園 P60
再利用したサステナブルな建築物。

楊樹浦電廠遺跡公園 /ヤンシュープーディエンチャンイーシューゴウエン
楊樹浦電廠遺跡公園 P59
1913年に建設された楊樹浦発電所を保存した公園。

灰倉美術館 /ホイツァンメイシューグアン
灰倉美術館 P59
1913年に英国商社建設の発電所跡地。

緑之丘駅 /リュージーチウジヤン
緑之丘駅 P61
タバコ倉庫だった建物を緑化した斬新な商業施設。

上海自來水科技館 /シャンハイズーライシューケージューグアン
上海自來水科技館 P58
1920年代、英国資本の会社が建設した浄水場兼博物館。

P58 上海国際ファッションセンター
P62 白七咖啡 WHITE SEVEN COFFEE
P61 上海船廠毛麻倉庫

八万吨筒倉美術館 /バワントンチュンチュアアンメイシューグアン
八万吨筒倉美術館 P63
黄浦江のパノラマを堪能できる、浦東浜江の新たな文化ランドマーク。

船廠1862 /チュアンチャン
船廠1862 P64
隈研吾が8万枚の赤れんがでリノベーションしたショッピングモール。

上海博物館東館 /シャンハイボーウグアンドングアン
上海博物館東館
2017年竣工の新しい博物館。青銅等文化財の修復工事の見学ができる。

芸倉美術館 /イーツァンメイシューグアン
芸倉美術館 P19
約7,000平米のギャラリーを持つ複合施設美術館。

南浦大橋 /ナンプーダーチャオ
南浦大橋
世界第5位の大きさを誇るループ橋。

上海復星芸術中心 /シャンハイフーシンイーシュージョンシン
復星芸術中心 P19
外壁に取り付けられた巨大な金属製スクリーンが回転する特徴的な建物が目を引くアートセンター。

上海当代芸術博物館 /シャンハイダンダイイーシューボーウグアン
上海当代芸術博物館 P15
高さ165mの煙突がシンボルマーク。発電所を改装した芸術博物館。

星美術館 /シンメイシューグアン
星美術館 P10
鉄道ホームの跡地に建つ斬新な建物。

龍美術館 /ロンメイシューグアン
龍美術館 P9
芸術収集家・劉益謙、王薇夫妻が創設した美術館。

中華芸術宮 /チュンファイーシューグアン
中華芸術宮
元上海万博中国館を2012年美術館にリニューアル。

上海油罐芸術中心 /シャンハイヨウグアンイーシュージョンシン
上海油罐芸術中心 P9
旧龍華空港内で使われていた航空機用の燃油タンクをリノベーションした画期的な施設。

穹頂芸術中心 /チョンドンイーシュージョンシン
穹頂芸術中心 P11
上海の新名所! 産業遺産が生まれ変わったアートスポット。

天安千樹 /ティエンアンチエンシュ
天安千樹 P48
1000本の樹木がそびえる中国・上海の大型複合再開発

Fotografiska 映像芸術中心 /フォトグラフィスカインシュアージュジョンシン
Fotografiska P52
映像芸術センター
世界中の映像芸術を集めた空間。

上海郵政博物館 /シャンハイヨウジエンボーウグアン
上海郵政博物館 P53
郵政の歴史がスタートした場所。

上海外灘美術館 /シャンハイワイタンメイシューグアン
上海外灘美術館 P29
外灘エリアで最も存在感を感じる建物のひとつ。長い年月を経ても進化し続ける博物館。

P49 BWT 珀德水塔咖啡
P50 Nodcafe

M50 創意園 /エムウーリンチュアンイーユーエン
M50 創意園 P49
上海で最も古い第一世代の現代アートエリア

上海博物館 /シャンハイボーウグアン
上海博物館
天円地方という古代中国の世界観を表現した特殊な外観に、百万点の収蔵品を誇る美術館。

UCCA Edge P51
Suhehaus 蘇河館 P51
上海蘇州河万象天地 P52
P54 外灘源壹号
P31 上海外灘美術館

八号橋芸術空間 P50

沙美大樓
東亜銀行大樓
元四行野音會大樓
外灘芸術中心185空間
Maison Wave
百空間内門洋行
Bluerider ART
旧中国企業銀行大樓
延安高氣路

江川大樓
旧大清銀行
旧三菱洋行
亞細亞大樓 P25
上海電信博物館 P28

上海蘇州河
北京東路
九江路
蘇州路
一東路

上海蘇州河
北京東路
九江路
蘇州路
一東路

上海蘇州河
北京東路
九江路
蘇州路
一東路

上海蘇州河
北京東路
九江路
蘇州路
一東路

上海蘇州河
北京東路
九江路
蘇州路
一東路

上海蘇州河
北京東路
九江路
蘇州路
一東路

上海蘇州河
北京東路
九江路
蘇州路
一東路

上海蘇州河
北京東路
九江路
蘇州路
一東路

上海蘇州河
北京東路
九江路
蘇州路
一東路

上海蘇州河
北京東路
九江路
蘇州路
一東路

上海蘇州河
北京東路
九江路
蘇州路
一東路

上海蘇州河
北京東路
九江路
蘇州路
一東路

上海蘇州河
北京東路
九江路
蘇州路
一東路



上海で必見!おすすめの 美術館&博物館

上海博物館 Shanghai Museum

上海博物館 / シャンハイボーウグアン
本世紀に建設された中国博物館(北京)と比べても上海博物館は精巧な建造物である。建物の外観を見ると、天円地方という古代中国の世界観と宇宙観を引用したもので趣がある。百万件の収蔵品は、上海博物館の誇りであり、その収蔵品の中に著名な中国文化鑑賞家たちが収集して寄贈されたものもたくさん展示されている。

2024.「Art Museum in Shanghai」P1

URL: www.shanghaimuseum.net
住所: 人民大道201号
時間: 09:00~17:00(最終入場時間16:00)
国の祝日を除き、月曜日は閉館
入場料: 常設展は無料、特別展は100元/人

中華芸術宮 China Art Museum

中华艺术宫 / ジョンホアイーシューグアン
2010年に開催された上海世界博覧会の中国館が華麗に変身。2012年10月1日、上海美術館がここに入居しました。高さ63メートルの建物は、外観が赤色に染まれ、スケールの大きさと豪華な色彩が見る人に強烈なインパクトを与えています。

2024.「Art Museum in Shanghai」P9

URL: www.artmuseumonline.org
住所: 上南路205号
時間: 10:00~18:00(最終入場17:00)
月曜日閉館(固定休日は除く)
入場料: 当館の見学は予約不要で、一般に無料開放されています(一部の特別展やイベントを除く)。

上海博物館 東館 Shanghai Museum East

上海博物館東館 / シャンハイボーウグアン
2017年竣工。建築面積11万3000平方メートル。地上6階、地下2階建ての建物内には、20の展示室を設置。全館ガラス張りでのフロアにも自然光が入る造りが特徴。また、観覧客が寛げるように、休憩所やショッピングエリア、レストランが入るほか、荷物預かりサービス、多目的トイレ、授乳室なども設置されている。

2024.「Art Museum in Shanghai」P5

URL: www.shanghaimuseum.net
住所: 世紀大道1952号
時間: 10:00~18:00(火曜日(固定休日は除く)閉館)
入場料: 常設展は無料

上海郵政博物館 Shanghai Postal Museum

上海郵政博物館 / シャンハイヨウシエンボーウグアン
蘇州河のほとりにそびえる美しい建築物中国で最も古い郵政博物館のひとつ。上海郵政博物館の前身は上海郵政総局、いわゆる中国近代郵政発祥の地である。設計者は英国建築家のStewardsonとSpence、中国の余洪記營造廠が工事を担当して1924年に竣工。

2024.「Art Museum in Shanghai」P9

住所: 北蘇州路250号
時間: 水曜日、木曜日、土曜日、日曜日9:00~16:00(土日のみ全館の内部を見学可能。平日は博物館のみ一般開放)
入場料: 無料

Power Station of Art

上海当代芸術博物館

上海当代艺术博物馆 / シャンハイダンダイイーシューボーウグアン
西岸から北に車で10分ほどの場所には、高さ165メートルの煙突がランドマークの上海当代芸術博物館(PSA: Power Station of Art)が立っています。

2025.「Art by the River」P15

URL: www.powerstationofart.com/whats-on
住所: 雷江路678号
時間: 11:00~19:00(最終入場18:00)(月曜日休)
入場料: 無料

浦東美術館 Museum of Art Pudong

浦東美術館 / プードンメイシューグア

浦東美術館(MAP)は陸家嘴の川沿いにあり、東方明珠塔や上海国際会議センターと隣り合わせに建つモダンな建物。設計者はフランスの建築巨匠であるジャン・ヌビル(Jean Nouvel)。

2025.「Art by the River」P21

URL: www.museumofartpd.org.cn/
住所: 濱江大道2777号
時間: 09:00~21:00(チケット販売は20:00まで) ※7月1日~8月31日までの期間中、毎週金曜日・土曜日・日曜日は営業時間を22:00まで延長します。
入場料: 平日100元、週末150元
夜間入場(17時以降)は平日80元、週末120元

Shanghai Rockbund Art Museum

上海外灘美術館

上海外灘美术馆 / シャンハイワイトンメイシューグアン

1932年竣工の亞洲文会大樓は中国初の博物館専用建物としてRAMのシンボル。元々は1857年創立のRAS(北中国支会(英国と米国の華僑組織)のために設計された建物で、同協会は中国や周辺地域の考察、機関誌の出版、図書館や博物館の建設などによる学術探求と普及に尽力していた)。

2025.「Art by the River」P29

URL: www.rockbundartmuseum.org/
住所: 虎丘路20号
時間: 火曜日から日曜日10:00~18:00(最終入場17:30)
入場料: 100元/人、180元/2人

Shanghai Fosun Art Center

復星芸術中心

上海复星艺术中心 / シャンハイフーシンイーシューウグアン

外灘の中心部にそびえる復星芸術中心(Fosun Foundation)は、イギリスの建築家事務所ヘサウィック・スタジオと国際的な建築設計組織であるフォスター・アンド・パートナーズが共同設計した、「Bund Finance Center」内にある総合アート施設です。最大の特長は、建物外壁に取り付けられた巨大な金属製のスクリーンです。横に並んだ複数のカーテン状のパネルがゆっくりと回転することで、外観の表情が刻々と変化します。この回転機構によってファサードがダイナミックな動きを見せ、夜間にはライトアップされてさらに幻想的な雰囲気を醸し出します。

2025.「Art by the River」P19

URL: www.fosunfoundation.com
住所: 中山東二路600号
時間: 10:00~20:00(月曜日休館)
入場料: 無料

TANK Shanghai

上海油罐芸術中心

上海油罐艺术中心 / シャンハイヨウグアンイーシューウグアン

旧龍華空港内で使われていた航空機用の燃油タンクをリノベーションした画期的な施設。1号基から5号基まであり、それぞれアート展、音楽イベントなど多彩なエキシビジョンが開催されています。6万㎡の広大な敷地の黄浦江側は公園(油罐芸術公園)で、朝はジョギングする人たちも多い。入場料はイベントによって異なるので事前に確認ください。

2025.「Art by the River」P7

URL: [www.tankshanghai.com](http://tankshanghai.com)
住所: 龍騰大道2380号
時間: 火曜日~金曜日: 12:00~18:00
土曜日~日曜日: 10:00~18:00(月曜日休館)
入場料: 当館の見学は予約不要で、一般に無料開放されています(一部の特別展やイベントを除く)。

Long Museum

龍美術館(西岸館)

龍美术馆 / ロンメイシューグアン
西岸館は埠頭の跡地をリノベーションした美術館。芸術収集家として有名な劉益謙、王薇夫妻が創設しました。国内で最も収集力のある私立美術館と言われるほど。龍美術館は上海に2館、重慶に1館を構える大規模な美術館です。

2025.「Art by the River」P7

URL: www.thelongmuseum.org
住所: 龍騰大道3398号
時間: 月曜閉館、火曜~木曜10:00~18:00 金曜・土曜のみ21:00(チケット販売は閉館1時間前に終了)
入場料: 無料

「上海小町」

上海小町は、上海の町歩きをテーマにした“ちょびりディープな上海”を体験したい方のためのガイドブックです。

電子版ダウンロード
はこちら!



上海小町編集部
Instagramはこちら!



発行: 上海市文化และ旅游局
編集: 上海ベスト広告
(上海貝赫特广告有限公司)

問い合わせ: 上海小町編集部 (新井田)
akikoniida@sha-best.com

ウエストバンドの
アート新天地

SPOT 1



美術館やギャラリーが密集
する西岸美術館アベニュー

黄浦江沿いの龍騰大道は上海の美術館大通り。もともと美術館やギャラリーが密集するのは約5キロにわたる西岸(ウエストバンド)エリア。



Shanghai Art
Map-1



●ウエストバンドバス(西岸バス)
週末のみ運行(小型イエローシャトルバス)
運行区間:星美術館駅→龍美術館駅→東安路駅→西岸藝術センターN館駅→西岸美術館駅→タンク上海(油罐藝術公園)駅→西岸夢センター駅→極限運動公園駅
運行時間:2025年7月~9月 週末・祝祭日 13:00~18:00(最終バス発車 16:30)
片道運賃:5元

●浦西濱江1路(07:30 - 20:00)
浦西濱江1路は、全長約17キロメートルの路線で、南浦大橋から、黄浦・徐匯の濱江沿いを走り、徐浦大橋に向かう。龍美術館、濱江スケートパーク、西岸藝術センターなど、数多くの文化・芸術施設を経由。

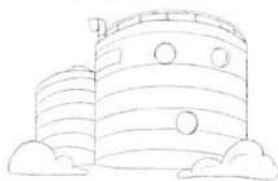


川沿いのリノベスポット シューフィビンジャン 徐匯濱江



Shanghai Oil Tank Art Center

黄浦江を望む徐匯濱江、
新しいアートスポットに
芸術の風が吹き抜ける
おしゃれ美術館。



上海油罐艺术中心

上海油罐艺术中心 / シャンハイヨウガンアーティシュージョンシン

旧龍華空港内で使われていた航空機用の燃油タンクをリノベーションした画期的な施設。1号基から5号基まであり、それぞれアート展、音楽イベントなど多彩なエキシビジョンが開催されています。6万㎡の広大な敷地の黄浦江側は公園(油罐芸術公園)で、朝はジョギングする人たちも多い。入場料はイベントによって異なるので事前にご確認ください。

📍 龍騰大道2380号 🚌 11号線「雲錦路」駅4号口から徒歩約10分



龍美術館(西岸館) 龍美術館 / ロンメイシューグアン

1棟の建物、無限の魅力

西岸館は埠頭の跡地をリノベーションした美術館。芸術収集家として有名な劉益謙、王薇夫妻が創設しました。国内で最も収集力のある私立美術館と言われるほど。龍美術館は上海に2館、重慶に1館を構える大規模な美術館です。

📍 龍騰大道3398号 ☎ 021-6422-7636
🕒 月曜閉館、火曜～木曜10:00～18:00
金曜・土曜のみ21:00(チケット販売は閉館1時間前に終了)
🚌 7/12号線「龍華中路」駅の6号口から徒歩約13分

Long Museum



START Museum



星美術館 星美術館 / シンメイシューグアン

鉄道ホームの跡地に建つ斬新な建物がユニーク

かつて海上輸送と陸上輸送の中継地点として使用されていた鉄道のホームがアートスペースに生まれ変わった美術館。フランスのプリツカー賞受賞の建築家が設計。2022年のオープン以来アートブックフェアなどを開催し、若いクリエイターの注目スポットに。

📍 瑞寧路111号 🕒 10:00～17:30(月曜休館)
🚌 4/12号線「大木橋路」駅6号口から徒歩約3分



西岸美術館 西岸美術館 / シーアンメイシューグアン

2019年設立、上海のアートシーンに新しい景色が加わった

「肖像の映像」はボンビドゥー・センターと西バンド美術館は、中国とフランスの文化芸術交流を目的として、美術館の展示、セミナー、舞台芸術、教育活動、文化支援など、5年間にわたって文化プログラムを実施します。1895年から現在まで、約300点のボンビドゥー・センター秘蔵品を集め、絵画、彫刻、映像、写真などを網羅、西岸美術館の歴代展覧会において作品数が最も多い展示会となっている。

📍 龍騰大道2600号 🕒 11:00～18:00(月曜日は休館)
🚌 11号線「雲錦路」駅2号口から徒歩約10分



セメント工場地帯をリニューアルした上海の新名所!

穹頂芸術中心

穹頂艺术中心/チョンディンイーシュージョンシン

歴史的な工業地帯をリノベーションした現代アート施設です。産業遺産の雰囲気を残しつつ、先進的なアートを発信する上海を代表する文化拠点となっています。2023年には「上海国際芸術週間」のメイン会場として、大規模なマルチメディアアート展を開催。特にドーム空間を活かした光と音のインスタレーション作品が話題となりました。

- 📍 龍騰大道2350号
- 🚶 11号線「云錦路」駅1号出口より徒歩約8分
- 🕒 10:00~18:00 (月曜定休)

West Bund Dome
Art Center



Gate M West Bund Dream Center

産業遺産に

新たな命が吹き込まれる!

Gate M 西岸夢中心

産業遺産の保存と現代文化の創造を見事に両立させた「Gate M 西岸夢中心」は、上海の新たな観光名所としてだけでなく、地元クリエイターたちの活躍の場としても注目を集めています。

- 📍 龍騰大道2266号
- 🕒 10:00~22:00
- 🚶 11号線「龍耀路」駅1号出口より徒歩約10分



West Bund Grand Theatre

上海の新たな芸術文化の殿堂

西岸大劇場

西岸大劇院/シーアングァージュユエン

上海・黄浦江西岸エリアの新たな文化的ランドマークとして2024年にオープンした、現代的なデザインが特徴の大型劇場施設です。西岸大劇院は、上海の芸術シーンをリードする最先端の文化施設です。黄浦江の美しい景色を背景に、世界クラスの舞台芸術をお楽しみいただけます。

- 📍 龍騰大道2290号
- 🚶 11号線「云錦路」駅6号出口より徒歩8分



森の中のマーケット

Bloomarket

ここはかつてアジア最大のセメント工場だった場所が、華麗に生まれ変わり、クリエイティブと活力に満ちたアートエリアとなりました。歴史の重みと現代的なシンプルさが融合し、自然環境の整備も加わり、数多くのアーティストやデザイナー、個性あふれるブランド店が集まり、まるでSOHO コミュニティを歩いているかのようです。

- 📍 龍騰大道2266号 8号楼
- 🚶 11号線「云錦路」駅2号出口より徒歩約8分

Rock Hour

アート×ボルダリング

岩時攀岩館

岩時攀岩館/イエンシーバンイエンガアン

6つの天井高20メートル超の筒倉が内部でさまざまなクライミングウォールに改造され、互いにつながる円筒形の空間は楽しさを満たすだけでなく、写真映えも抜群です。各筒倉には独自のデザインが施されており、3号館のみオートベレー装置が設置されています。その他の筒倉では保護装備の持参または保護者の同伴が必要です。クライミング後はストレッチエリアから徐匯川沿いの夕日を楽しむことができます。

- 📍 龍騰大道2266号
- 🚶 11号線「云錦路」駅2号出口より徒歩約8分
- 🕒 火曜日~金曜日 12:00~22:00 土日・祝日 10:00~21:00 (月曜日定休)



200のレベルの異なるコースが存在する



千年の歴史を語るお寺

龍華寺

龍華寺 / ロンハウス

三国志時代の孫權が
母親のために建立

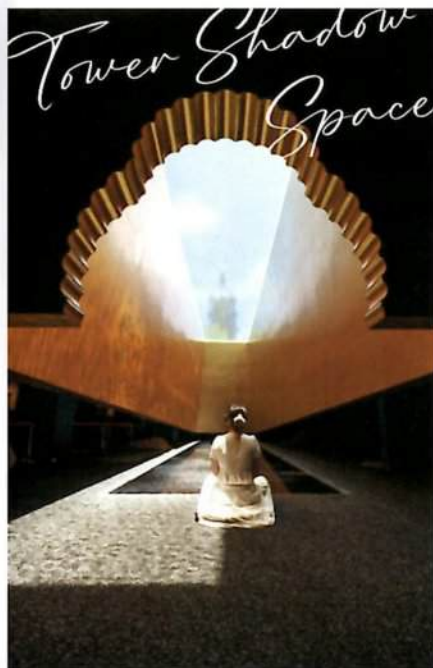


地下にはカフェテリアがあり、併設されているギャラリーは陶器などが展示されている。



数体の神様が祀られており、神様毎にご利益の違いがあるようですが、最近では、中国人ビジネスマンの間で高繁盛の運氣を呼び込むパワースポットとして若者にも人気が高まっています。

● 龍華路2853号 ● 11/12号線「龍華路」駅3号口から徒歩約5分



光と影が演出するギャラリーで、アートと出会う、新しい体験を。

塔影空間

建築家・顧愷による防空壕リノベーションプロジェクト。「無設建築」(設計をしない建築)の思想のもと、既存構造を活かした最小の改修で、時間と共に変化する自然光を巧みに採り入れ、都市に瞑想的な芸術空間を創出。光と影が織りなす移りゆく環境自体が展示物であり、訪れる人に静寂と内省の時間を提供するコモアートスペースです。



金色の壁には天幕の水面に陽光がさし水面の揺らぎによって塔影が動的に変化する。

静寂の中に身を置き、光と影のシンフォニーに耳を傾ける

都会の地下にひそむ、もう一つの異次元。かつての防空壕は、禅の精神を宿した瞑想の芸術空間へと生まれ変わりました。「塔影」という名前は、仰ぎ見る逆さの塔(一千年の歴史ある龍華塔)が空中に浮かんでいるように見えます。「迎月」のカフェとコミュニティ図書が融合した温もりのある図書スペースや「帰雲」の現代アートが息づく展示エリア。過去には海派書画(上海文化に根付いた書画展)と紫砂藝術の融合展「壺兔有福」を開催。現在「共君聚砂・王強持泥茶叙」と題し、王強氏の手による紫砂壺の世界が、土と炎が生み出した造形美と深遠な茶の文化をご紹介します。また、同じ空間と時間を共有する者同士の、深く豊かな対話が生まれるコミュニティサロンスペース「聴松」などがあります。

塔影空間は、単なる画廊を超えた、心を浄化し、思索を深めるための「精神的居場所」。光と影が織りなす至高の時間へ、ぜひお越しください。



Power Station of Art



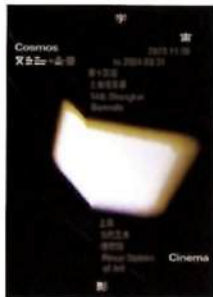
中国本土初の公立現代アートミュージアム

西岸美術館から北に車で10分ほどの場所には、高さ165メートルの煙突がランドマークの上海当代芸術博物館 (PSA: Power Station of Art) があります。

Shanghai Biennial

上海ビエンナーレとは

アジアで最も重要な国際芸術祭の一つであり、上海当代芸術博物館は2012年から上海ビエンナーレのメイン会場となっている。上海ビエンナーレは、アジアで最も重要な国際芸術祭のひとつである。現代アートの最新成果を学術レベルで世界に紹介するだけでなく、一般大衆が現代アートに近づく絶好の場を提供している。第15回上海ビエンナーレは、2025年11月8日から2026年3月31日まで「Does the flower hear the bee? (花はミツバチを聞くのだろうか?)」をテーマに開催されます。



MoCA SHANGHAI



貝聿銘: 人生如建築 I.M. Pei: Life is Architecture (2025.04.26~08.10)

世界的建築家I.M.ペイ(貝聿銘)の大規模な回顧展。400点を超える図面や草稿、建築模型、写真、文献資料を通じて、ルーヴル美術館のガラスのピラミッドや香港の中銀タワーなど数多くの傑作を生み出した彼の生涯と建築哲学を振り返った。「グローバルなバックグラウンド」「権力、政治、パトロン」「デザインによる歴史の再解釈」など6つのテーマで構成され、その文化的背景や設計プロセスに深く迫った。

上海当代芸術博物館

上海当代藝術博物館/شانハイダンダイーシューボーウーグアン

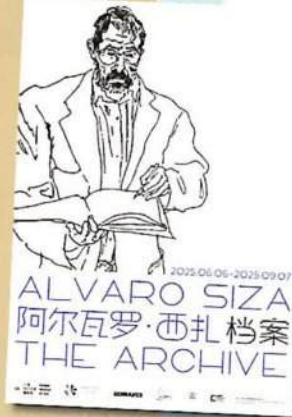
かつての南市発電所を改築した建物で、2010年の上海万博では「都市未来館」として利用され、2012年10月より中国本土初の公立現代アートミュージアムとなった。黄浦江のほとりに建ち、高さ165mの煙突はランドマークにもなっている。館内には、フィリップ・スターク(フランスのデザイナー)が未来都市をモチーフにして作った「都市モデル」、ジェフ・コーエン(アメリカの芸術家)が創作した装置系芸術作品「流れる都市」など国内外の著名なアーティストの作品が常時展示され、絵画、彫刻、撮影、装置、映像、アニメなど様々な現代芸術作品を網羅している。

- 苗江路678号
- 8号線「西藏南路」駅1号出口から徒歩約25分
- 11:00~19:00 (月曜日は休館)

Álvaro Siza's Archive

阿爾瓦羅·西扎的檔案 Álvaro Siza's Archive (2025.06.06~09.07)

プリツカーを受賞したポルトガル人建築家アルヴァロ・シザの回顧展で、アジアでは過去最大規模。800点以上の作品が、長年にわたる豊かな創作の軌跡を物語っている。アルヴァロ・シザの建築は、彫刻的な美しさと場所への深い共感、そして光と素材を巧みに活かす繊細なデザインが特徴的。I.M.ペイが同時期に開催されていたため、二人の巨匠の“対話”を探るような貴重な機会でもあった。



復興東路渡口から
東昌路渡口の川沿い

SPOT 2



陸家嘴
上海のモダンスカイライン

陸家嘴とは、黄浦江の曲がり角によって形成された半島のことです。国家に発展地区に指定され、上海の新しい金融地区として進化を遂げたこの街の建築美をどうぞお楽しみください。



金陵東路 (渡し船乗り場)

東金線

陸家嘴連絡の重要拠点。陸家嘴の金融街と及びバンド万国建築博覧群を眺望可。夏季は運行時間延長の場合あり。夕暮れ時は夕日が照らす「オレンジ色の海」と陸家嘴の風景を鑑賞でき人気。祝祭日は混雑の可能性あり。
東昌路渡口～金陵東路渡口 運航時間/7:00～18:15 (東昌路渡口) 7:00～18:30 (金陵東路渡口)

東復線

ナイトクルーズ選択肢の一つ。19:00以降はバンドのライトアップ夜景を鑑賞可。近くの歩道橋はフェリーと南浦大橋を撮影する穴場スポット。15～20分間隔で出航。
復興東路渡口～東昌路渡口 運航時間/7:00～21:00 (5～10月は22:00まで延長の場合あり)

南陸線

南浦大橋の下を通過し、途中で南浦大橋と兩岸の建物が輝き合う美しい景色を見ることができることから「落日線」と呼ばれ、上海の最高の夕日観賞専用航路となっています。
南碼頭渡口～陸家嘴路渡口 運航時間/4:40～23:20 (南碼頭渡口) 4:50～23:10 (陸家嘴路渡口)



おすすめ! 蘇州河を
フェリーで渡る

リーズナブルで蘇州河兩岸に広がる美しい風景を同時に鑑賞することもできる。外灘の万国建築博覧群と陸家嘴の超高層ビル群をお楽しみください。



Fosun Foundation



復星芸術中心

上海復星芸術中心/シャンハイフーシンイーシュウジョンシン

外灘の中心部にそびえる復星芸術中心(Fosun Foundation)は、イギリスの建築家事務所ヘザウィック・スタジオと国際的な建築設計組織であるフォスター・アンド・パートナーズが共同設計した、「Bund Finance Center」内にある総合アート施設です。最大の特徴は、建物外壁に取り付けられた巨大な金属製のスクリーンです。横に並んだ複数のカーテン状のパネルがゆっくりと回転することで、外観の表情が刻々と変化します。この回転機構によってファサードがダイナミックな動きを見せ、夜間にはライトアップされてさらに幻想的な雰囲気を醸し出します。

- ① 中山東二路600号
- ② 10号線「豫園」駅1号出口から徒歩約10分
- ③ 10:00~20:00(月曜日休館)

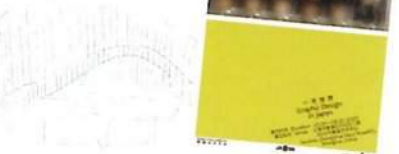
芸倉美術館

芸倉美術館/イーチュアンメイシュウグワン

石炭貯蔵庫を、建築や景観は当時のまま再計画

元は老白渡埠頭で、1980年代の上海港最大の専門石炭荷役埠頭である。2016年に芸倉美術館に改築され、元工業跡地で最も重要なシンボリックな石炭斗構造を保持し、美術館の最も特徴的なアート展示場の一つとなっている。アート クラウド アート ギャラリーは、約 7,000 平方メートルの建築面積を持ち、文化芸術特別展を中心に、さまざまな展示企画、芸術教育活動を展開し、アート ショップ、カフェ、バー、屋上などの芸術文化生活施設を提供している。

- ① 濱江大道4777号
- ② 10:00~18:00(最終入場17:30)(月曜日休)
- ③ 4号線「塘橋」駅4号出口から徒歩約15分



一天世界: Graphic Design in Japan 2025.07.26~08.23

日本グラフィックデザイン協会(JAGDA)が主催した大規模な日本のグラフィックデザイン展。原研哉、北川一成、佐藤可士和、玉置太一など日本を代表する100名以上のデザイナーたちの作品300点以上を展示し、日本のグラフィックデザインの魅力と創造性を伝えた。

チケット「復星芸術中心」のWeChatミニプログラムから展覧会のページに進んで購入。料金は展覧会によって異なります。

Modern Art Museum Shanghai



建築の巨匠・安藤忠雄設計の 私立芸術博物館



震旦博物館

Aurora Museum

震旦博物館/チェンダンボーウグワン

常設展、特別展どちらも仏像や玉器などの展示がメイン。VRで博物館内を探検できるところが魅力的!

浦東エリアにそびえ立つ震旦国際大樓(オーロラビル)にある私設美術館で、中国古代美術のコレクションに定評があります。震旦グループの創設者である陳永泰氏によって設立され、2013年10月にオープンしました。著名建築家・安藤忠雄氏が設計を手がけたことでも知られ、館内の宮殿のような白階段は人気の撮影スポットになっています。延床面積は6,000平方メートル以上、6階建ての館内には中国古代の器物を中心としたコレクションが収蔵・展示されています。安藤忠雄氏は幾何学的なデザインとガラスのカーテンウォールを効果的に使い、黄浦江のほどりに現代的な印象を与え、館内に透明感を創り出しています。

- ① 浦東新区富城路99号震旦国際ビル1階 ② 021-5840-8899
- ③ 火曜~木曜、土曜、日曜: 10:00~17:00(最終入館 16:30)
- ④ 金曜日: 閉館時間を21:00まで延長(最終入館 20:30)
- ⑤ 月曜日は定休日(祝日の場合は翌平日)
- ⑥ 14号線「陸家嘴」駅9 B口徒歩約5分



靈光:新石器時代の玉器特別展 2025年5月16日~ 未定

紅山文化、良渚文化、龍山時期、齊家文化という新石器時代の四大玉器文化圏に焦点を当て、200点以上の精選された玉器を展示。中国新石器時代後期、最初の玉器芸術の高峰を系統的に紹介しています。なお、「玉器」は、翡翠などの「玉」を加工して作られた工芸品や装飾品。**チケット** 特別展は無料。常設展の料金のみで鑑賞できます。

常設展

2階から4階および6階が常設展となっており、古代中国の工芸品を中心に展示されている。

2階: 古代陶俑: 漢唐時代を中心とした彩色「陶俑」(とうよう)は、兵士・召使・芸人などの様々な人物や動物の姿を写した焼きものの像。

3階: 古代玉器: 新石器時代から清代までの玉器を収蔵。中国玉器の歴史的な変遷を系統的に展示。

4階: 青花瓷器: 元、明、清時代の青花磁器を展示。

6階: 仏教造像: 歴代の仏教彫刻を収蔵。この展示ホールではコンサートなども開催される。

チケット「震旦博物館」のWeChatミニプログラムから購入。60元/人。

震旦博物館 馆藏文物精選展

Aurora Museum
Private Art Exhibition





Museum of Art Pudong

展示の開催、アート教育の促進、
文化商品の開発、国際交流の推進
が浦東美術館の4つの柱

浦東美術館

浦東美術館/ブードメイズシュエア

2021年7月にオープン 夜のライトアップショーが人気

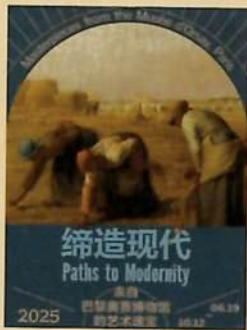
浦東美術館 (MAP) は陸家嘴の川沿いにあり、東方明珠塔や上海国際会議センターと隣り合わせに建つモダンな建物です。設計者はフランスの建築巨匠であるジャン・ヌーベル (Jean Nouvel)。美術館外装の壁面、テラス、ガーデン及び内装のフロアや壁は、すべて白い花崗岩が使用されていますが、異なる研磨技法によりそれぞれ違う質感になっています。高級ブランドのパレンシアガが2025年スプリング・コレクションショーの会場に選んだことでも知られています。約11万点の所蔵品は、書画、金属、陶磁器、貨幣、写真、切手など多岐にわたり、1841年江南提督の振遠將軍銅砲、1880年豫園歡樂園絵巻、1923年HSBCの銅製獅子などは重要文化財です。



パス・トゥ・モダニティ: パリ・オルセー美術館の芸術的宝物

Paths to Modernity: Masterpieces from the Musée d'Orsay, Paris / 締造現代: 来自巴黎奥赛博物馆的艺术瑰宝 (2025.06.19~10.26)

浦東美術館とパリのオルセー美術館の尽力により実現した企画です。オルセー美術館のコレクションに焦点を当てた展覧会としては中国で最大規模であり、世界でもここだけの開催となります。1840年代から20世紀初頭までのフランス美術の傑作を100点以上も集め、アカデミック美術、写実主義、印象派、ポスト印象派など、主要な芸術運動をほぼ網羅しているほか、美術の教科書にも載るような名作揃いの「芸術の祭典」です。また、ミラールームでのアニメーションショーが特別に設置されています (毎晩 19:00~21:00)。ゴッホの名作と黄浦江の景色のコラボレーションは一見の価値あり。



まるで映画!
圧巻のパフォーマンス

浦東美術館 (MAP) ミラーホールの夜のライトアップショーは圧巻! 大型LEDスクリーンとガラスの外壁が館内の来館者を巧みに映し出し、驚くような視覚効果を生み出す。濱江大道の展望台からは、正面にある上下2つの大型スクリーンを一望できる。来館者が動くシルエットとなって投影されるなど、映像には巧みな演出がほどこされていて、まるで映画を観ているように楽しめます。

① 音声ガイド機器のレンタル料は100元/人ですが、展示作品にあるQRコードをスマホでスキャンして無料の英語音声ガイドを聴くこともできます (イヤホン要持参)。館内での撮影は可能だが、フラッシュ撮影や三脚の持ち込み、飲食物の持ち込みは禁止です。

② 年中無休 10:00-21:00 (最終入場時間20:00)

事前予約 不要

③ 平日100元、週末150元 夜間入場 (17時以降) は平日80元、週末120元

④ 400-820-8771

<https://www.museumofartpd.org.cn/>

Access

⑤ 濱江大道2777号

⑥ 2/14号線「陸家嘴」駅2番出口から徒歩5分

Roof P.M. Cafe



環漢餐厅

ルーフトップには、対岸の外灘と黄浦江の景色を360度見渡せるレストラン。

平均単価300元/人+10%サービス料、午餐 11:30-13:30、下午茶 14:00-16:30、晚餐 18:00-22:00

Manner Coffee

カフェ

一面ガラス張りの窓から東方明珠塔を眺められます。
10:00-21:00
桂花龍井拿鉄 20元~



長い歴史とともに上海の名所となった「外灘」

古い洋館が並ぶ浦西と浦東の超高層ビル群はまさに対照的
ライトアップされた建築群がより美しい夜景をつくりだす



外灘の歴史

外灘は、もともと黄浦江周辺の船乗りや労働者たちが泥のついた足で踏み入っていた舟道だった。当時は「黄浦灘」と呼ばれた場所で、上海の町の城外にあったことから、後に外灘と呼ばれる。上海港開港以後はイギリスの影響を受け、1920～1937年の間で怡和、滙豊、江海関など8階建以上のビルが11棟建設される。モダンな欧風の建築物はどれも重量感がありきざみややかだった。リバーサイドの1.5km地帯は、依然として世界各国の風格あふれる多様な建物が20数棟並ぶ。これらの歴史的な建物が上海の独特な街の輪郭を形成。のちに“万国建築博覧会”とも呼ばれ、著名な建築物を見るために国内外から多くの観光客が訪れる。

SPD Bank (Shanghai Pudong Development) 上海浦東発展銀行(旧滙豊銀行大樓)

上海浦东发展银行/ブードンファージャインハン



息を呑むような美しい景観

外灘の遊歩道沿いに位置する浦東発展銀行は、その景観が特色である。正面から見ると間口が非常に広く、最上部のドーム部分が描く湾曲は左右対象のバランスがとれた骨格になっており、壮大で圧倒的な存在感を放っている。

① 中山東一路12号
② 2/10号線「南京東路」駅3号出口から徒歩約13分

上海海関

上海海関
/シャンハイハイグアン



1927年に竣工 外観はギリシャの 新古典主義様式

もともとはパーマー&ターナー事務所による設計。外国船への徴税事務を行う場所だった。のちに1952年に滙豊銀行の設計者ウィルソンによりリニューアルされた。もっとも注目すべきは当時アジア最大の時計台で、外灘の建築物の中でも美しさが際立っていた。正門は、古代ギリシャ神殿様式で四本のクラシカルな柱が、巨大な建物を支えている。1階ホールはモザイクタイルの天井と外壁の花崗岩が美しい。

① 中山東一路13号
② 2/10号線「南京東路」駅3号出口から徒歩約12分

ICBC(Industrial and Commercial Bank of China Limited)

中国工商銀行(旧迦陵大樓)

中国工商银行/ジョングオゴンシャンインハン

日本の銀行が使用していた古典様式建築

かつて上海で「不動産王」と呼ばれた英国籍ユダヤ人のサイラス・エアロン・ハルドーンとレスター・ジョンソン&モリス事務所の共同設計により1937年に建てられたオフィスビル。竣工後はチェース・マンハッタン銀行が1階にあったが、中華人民共和国成立後にサイラスの妻の名前に因み迦陵大樓へ改称され、以来中国工商银行などとして利用されている。

① 南京東路99号
② 2/10号線「南京東路」駅3号出口から徒歩約5分



友邦大廈AIA(旧字林西報大樓) AIA Building

友邦大廈/AIAヨウバンダーシャ

英字新聞社が使用していた新古典様式建築

現在はAIAグループが使っている。1924年の設立当時、字林西報(North China Daily News)の印刷設備はロンドンの「Times」に匹敵する立派な設備で、海外発行の英字新聞の中で最大規模を誇った。創刊当時の二つ折り4ページしかなかった新聞は最盛期は32ページにもなり貴重な情報源として重宝された。主に通信報道や時事ニュースの法令通告などが景気が良い時は大量の商業広告が掲載され、船の出航情報や市場の価格情報などの情報が網羅されていた。やがて「字林西報」は英国ロイター社の原稿を30年独占できる特権を得て1951年3月に廃刊となるまで多くのファンに愛された。

① 中山東一路17号 ② 2/10号線「南京東路」駅3号出口から徒歩約10分

Bangkok Bank

バンコク銀行上海分行 (旧大北電報大樓)

盤谷銀行/バングーインハン

ヨーロッパで15世紀に誕生した代表的なルネッサンス様式の建築

1907年にデンマーク人によって設計されたかつての大北電報会社の営業ビル。一時期、タイ領事館となったが1990年よりバンコク銀行上海支店として使われている。建物はルネッサンス様式で左右対照的に設計され安定感がある。各階にあるクラシカルな風格の支柱は重厚感があり、装飾にあしらわれた三角形の窓枠がアクセントになっている。窓の両端は太さの異なるバロック式の支柱が使われ黒い天井と白い壁のコントラストが優雅。

- 📍 中山東一路7号
- 🚇 2/10号線「南京東路」駅3号出口から徒歩約15分



Shanghai Jiushi International Art Center

アジアビル(亜細亜大樓)

亜細亜大樓/アシーアダーロウ

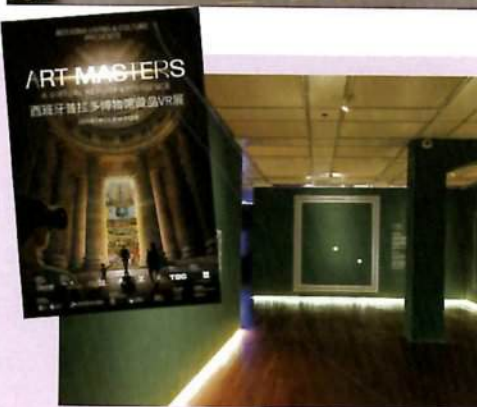
久事国際芸術センターの建物は1916年に建てられた亜細亜大樓は上海市優秀歴史建築にも指定されています。かつては亜細亜火油公司というイギリスの石油会社のオフィスでした。中山東一路の起点に位置することから「外滩1号」の呼び名もあります。

- 📍 中山東一路1号
- 🚇 10/14号線「豫園」駅7号出口から徒歩約11分



ギャラリーで VRアート体験

皆さんは普段絵画を鑑賞するとき、どうやって「見て」いますか？そもそも、絵画を「見る」ってどういうことなのでしょう？このVRアートツアーはそんな疑問に真っ向から向き合うものとなっています。VRゴーグルをつけると、何の変哲もない美術館が目の前に広がります。しかし、突然一人の男性がどこからともなく出てきてこう言います。「絵画を入れてくれないか」と。彼についていくと、なんとそこは絵画の中。時に生い茂る木々に癒され、時に人の死を悲しみ、そしてクライマックスには戦いの世界に放り込まれます。最先端の技術を使用した新しい鑑賞方法にあなたもきっと驚かされることでしょう。



The House of Roosevelt

ザ・ハウス・オブ・ルーズベルト 羅斯福公館(旧怡和洋行)

羅斯福公館/ルオスーファーゴングァン

1920年に竣工、米大統領のひ孫によってラグジュアリーなビルに生まれ変わった

1920年代に建てられた英国古典様式の建築物が数多く残り、現在は現代アートギャラリーとして再生されている。歴史的建造物の建築美と、そこで展示される最先端アートの対比を楽しめる全長1.2kmの四川中路で「タイムトリップ感覚」を体験。1920年代の洋館で2020年代のアートに出会える四川中路。外滩の「影」が光る街超高層ビルの陰に隠れた、レトロとアートが融合するエリア。アートとコーヒー巡り、夜の建築とバー発見、歴史建築のフォトスポット…ローカルならではの楽しみ方がここに。

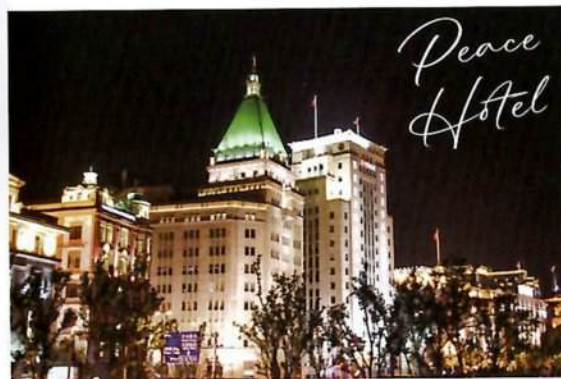


4,000種を超えるワインをもつワインセラーやシガーバー、プライベートクラブルームがある。



屋上のレストラン・バーは外滩と対岸を望める絶景スポットとして有名。優雅な雰囲気、テラスは外滩の華やかさと悠久の歴史を感じる。

- 📍 中山東一路27号732室
- 🚇 2/10号線「南京東路」駅3号出口から徒歩約11分



和平飯店(旧サッスンハウス)

和平飯店/フーピンファンディエン

ピースホテルは上海史上初のモダンなアール・デコ建築

パーマー&ターナー事務所の看板作品として名高い。上海の不動産王、ユダヤ系イギリス人であるヴィクター・サッスーンの住居で10階以下をホテルや事務所として使用していた。1階はキャセイホテルのロビー、最上階にはサッスーンの部屋があり黄浦江の景色が一望できた。ホテルのゲストルームは9タイプに分かれ、各国の国柄を感じさせるインテリアが施されたクラシックなホテル。

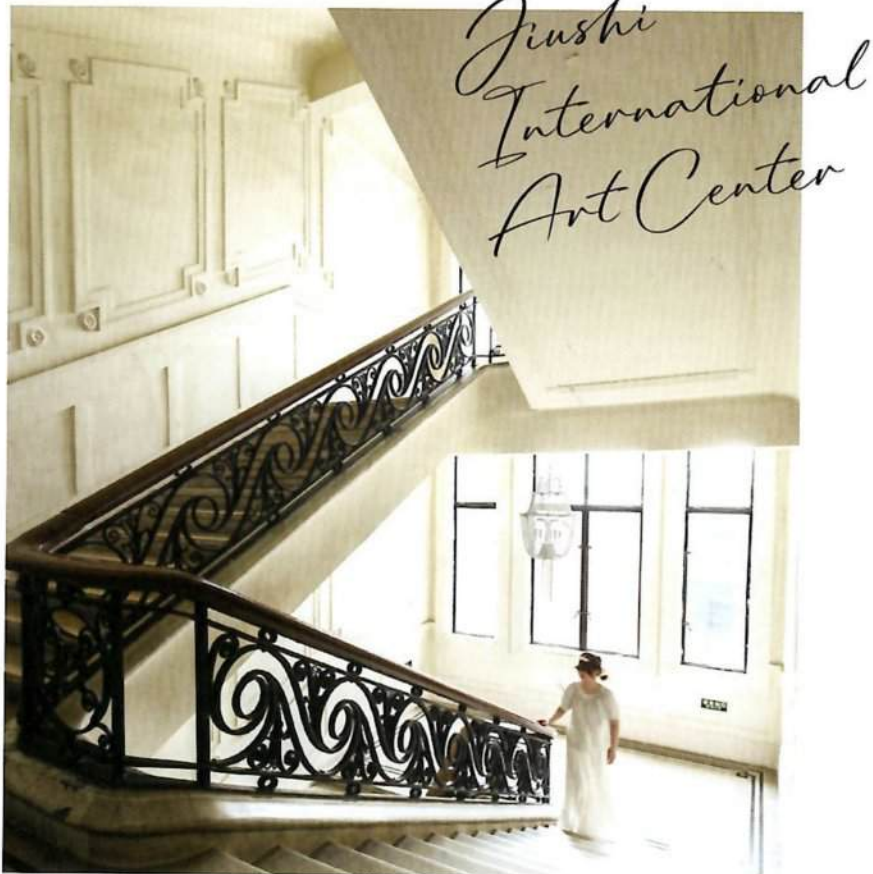
- 📍 南京東路20号
- 🚇 2/10号線「南京東路」駅2号出口から徒歩約8分

和平JAZZ&BAR

ゴシック建築で有名な中国・上海の5つ星ホテル「和平飯店」が2010年7月28日リニューアル。北楼1階のジャズ&バーでは平均年齢82歳というオールドジャズマンたちが深みのあるジャズを聴かせてくれる。

- ☎ 021-6321-6888
- 🕒 18:00~翌01:30 JAZZ Hour/18:00入場、18:30~24:30終了





Jiushi
International
Art Center

久事美術館

久事美術館/ジウシーメイシューグアン

外灘の芸術殿堂

2018年にオープンした公益性美術館で、外灘27号の歴史的建築物(元怡和洋行)の中に位置しています。マルク・シャガール展などの国際的な展覧会を開催。建物は国指定重要文化財であり、伝統的でモダンなアート空間です。

- 📍 中山東一路27号6階
- 🕒 2/10号線「南京東路」駅3号出口から徒歩約11分



「绚烂归朴——高迪と彼の時代」

展覧期: 2025年7月18日~8月29日
 時間: 金・土・日曜日 18:00~21:00(20:30最終入場)
 展示作品《圣母領報》は世界に3点のみ現存する貴重な作品で、アジア初公開となります。1910~1920年にガウディ工房によって直接製造されたもので、作品の元になったレリーフはサグラダ・ファミリアのファサードデザインの原形形態です!



上海外灘華爾道夫酒店

上海外灘華爾道夫酒店/ワールドフ・アストリア 上海 オンザバンド

クラシカルなレストランでモニングを

アジア初のワールドフ・アストリアホテルとして生まれ変わりました。四川中路に面しているホテルの正門と黄浦江に面している裏門のどちらからもホテル館内に入ることができ、格式高い雰囲気の中ホールを散策。旧上海総会の建物を改装したスイートルームや館内のレストランやバーには当時の面影が感じられます。1911年当時の上海総会の全長34mのバーカウンターを再現した1階のバーラウンジLong Bar「廊吧(ランバー)」はバンドのナイトスポットとしても人気。

- 📍 中山東一路2号
- 🕒 10/14号線「豫園」駅7号出口から徒歩約11分

朝食ビュッフェ

豪華絢爛な外観と内装からは、宮殿のような雰囲気が感じられます。

レストランGrand Brasserie 百味園/バイウェイユン

宿泊客と同じ朝食ビュッフェが楽しめる。
 320元/人 6:30~10:30

英国「上海總會」の旧跡

1910年に設立された英国紳士クラブ「上海總會」の旧跡。建物の外観は英国古典主義スタイルで、英商マヘイ・オーシャン事務所の英国王立建築家学会員H・タラントが設計し、室内装演の仕事は日本人建築家の下田菊太郎に委ねられました。旧館は丁寧に修復され歴史的建築物として保護されています。



上海電信博物館

上海電信博物館/シャanghaiディエンシンブーグワン

歴史的なロケーション

かつて1921年はデンマークの大北電信会社(Great Northern Telegraph Company)の自社ビルでした。現在このビルの3階・4階のスペースを利用した博物館では、モールス電信機などの展示をはじめ、1871年中国に初めて通信が導入されて以来の上海電信100年の歩みを紹介しています。

- 📍 延安東路34号
- 🎫 入場料: 無料
- 🕒 平日13:00-16:30(16:00入館締切) 土・日曜日 9:30-12:00(11:00入館締切)
- 🕒 10/14号線「豫園」駅7号出口から徒歩約14分



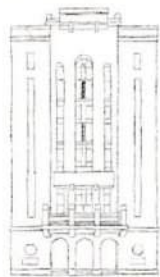
過去の街並みを活かした 外灘の美術館・ギャラリー



歴史的建造物が立ち並ぶ外灘に出ると古い建物をリノベーションした東一美術館(外灘1号館)やアーティスト・イン・レジデンスも行っているスウォッチ・アートセンターがあります。

Rockbund Art Museum

上海外灘美術館/シヤンハイワイタンメイシュエグアン



外灘エリアで最も存在感を感じる建物のひとつ
長い年月を経ても進化し続ける博物館

1932年竣工の亞洲文会大樓は、もとは1857年創立のR.A.S.北中国支会(英国と米国の華僑組織)のために設計された建物で、同協会は中国や周辺地域の考察、機関誌の出版、図書館や博物館の建設などによる学術探求と普及に尽力。2005年、上海洛克・外灘源(ROCKBUND)が美術館周辺地域の開発権を取得。歴史的建造物を保護して後世へ伝えるため、ROCKBUNDは亞洲文会大樓の修繕を決定。文化会館としての役割に加え、現代アートの要素も取り入れ、公益的な現代美術館として再建し、企業による社会還元の実例をアピールしています。

- ① QRコードをスキャンすれば音声解説を視聴可能 毎週土曜日、日曜日の14:30にフリーガイドサービスを提供(大衆点評2022)
- ② 火曜日から日曜日10:00~18:00(最終入場17:30) ¥100/人、180元/2人
- ③ 021-33109985-1101 021-63216251
instagram:rockbundartmuseum
- ④ 上海市黄浦区虎丘路20号

2階の「講堂」フロアは、年間を通じて各種イベントを開催。芸術コミュニティの活性化を図り、イベント型展覧会の現場となっている。3階はカフェテラス。



上海のモダンな建築の創造者ラズロ・ヒューデックによって設計された広学大樓

ハンガリー出身のスロバキア人で、上海史上最も伝説的な建築家。かつて「アジアNo.1の高層ビル」であった国際飯店、大光明映画館入口にある「巨大な地窓」、今も上海で最も人気を博している武康大樓、これらはどれもヒューデックの名作である。ヒューデックは上海のモダンな建築群を作り上げ、彼の建築遺産は上海文化の遺伝子に組み込まれている。



広学大樓

広学大樓/グァンシュエダーロウ

Laszlo.Hudec

1893年1月8日~

📍 虎丘路128号1F

1958年10月26日

🕒 10:30~20:00(最終入場19:30)

広学大樓に「上海外灘建築と金融展覧館」を設立

外灘は中国近代建築と金融の象徴として、上海が伝統的な港町から国際金融センターへと変貌を遂げる過程を目の当たりにしてきた場所。このユニークな歴史と文化的遺産を継承するため、広学大樓に展示・出版・サロンを一体化した当館を設立。広学大樓は、ハンガリー人建築家ラズロ・ヒューデック(鄒達実)が設計を手がけた1930年に竣工の歴史的建造物。1920年代アメリカの摩天楼スタイルを基調に、アールデコ様式とゴシック復興様式を融合させた独特の建築美が特徴。この建物で活動した「広学会」は、キリスト教系出版機関として中国史上最も長い歴史を持ち、19世紀末には光緒帝が西洋の新知識を紹介する書籍129冊を購入、そのうち89冊が広学会の出版物であり、まさに中国近代文明の啓蒙を支えた知的拠点と言える。



徐明さん

1980年代生まれの徐明氏は、日本で6年間記者(文化)を務め、自分の居住都市に対する日本人のきめ細かな観察と愛情に心を打たれ、上海に帰郷後もその気持ちを持ち続けた。2018年の冬、彼はパートナーと共に上海史独立研究団体である「上海城市考古」を創設。展示会の企画や学術研究のほか、City Walkイベントを開催して注目を浴びている。徐明氏は、「時代が絶え間なく変化するなか、建物と人間の関係性を繋ぐ記憶をできるだけ維持し、上海滞り時の「自分の姿」を記憶できるように人々を支援する、それが上海でCity Walkを体験する意義」と語る。

- 📍 虎丘路128号1F
- 📍 地下鉄12号線

**CITY WALKイベントを通じて
上海の魅力を知ってもらいたい!**



歴史×アート×カフェ
 四川中路と外灘をめぐりアート散歩

Time Travel

歴史建築で楽しむ現代アート・四川中路

1920年代に建てられた英国古典様式の建築物が数多く残る四川中路。現代アートギャラリーとしてリノベーションされた歴史的建造物と、そこで展示される最先端アートの対照的な美しさが楽しめます。アート鑑賞や歴史建築の撮影だけでなく、カフェでひと休みしたり、お気に入りのバーを見つけたり、楽しみ方はたくさん!



外灘源エリア



Rock Band

展示時間:2025.7.18-2025.8.17

作品「飽きない激流」

オレンジ色のセーターを着た少女の名前は英語でtireless girl(疲れを知らない女の子)。

外灘美術館前の広場を巨大なプールに見立てた遊び心いっぱいの作品のコンセプトは「プール・パーティ」。オレンジとレッドのビビッドな配色が赤レンガの建物にマッチしてエネルギーで楽しい広場に。夏の暑さを忘れさせてくれそうです。

アーティスト:周日央

深圳生まれ、上海在住。ビビッドな配色を好み、躍動感ある表現を得意としている。「Tireless girl」シリーズは彼女の代表作。



中山東二路 22 号



中山東二路22号 -
外灘22号 (Bund22)

外灘22号(Bund22)は、もとは国際企業グループ・太古洋行の建物でした。40 mの高さの吹き抜けから差し込む自然光がホールを照らす。屋上のテラスからは、黄浦江のきらめく夜景を一望できます。

Band 22



外灘二十二号

高さ25mの壁画の壁

ギャラリー巡りの途中に
上海蟹ラーメン!



李百蟹

カニみそ混ぜそばが美味しいレストラン

上海名物のカニみそ混ぜそばやカニみそ小籠包が味わえて、窓際の席からは川辺の景色を一望できます。おすすめは、小青団氷豆花(柔らかいお豆腐のスイーツ)。

中山東二路 22号 3階 10:00~22:00

133-2801-2446



Cafe Time

東亜銀行大廈



BEA Building

東亜銀行大廈(The Bank of East Asia Building)

1926年に建てられたアール・デコ様式の代表作で、上海市優秀歴史建築に指定されています。金融史と建築美を同時に楽しめる伊港銀行歴史展覧館になっていて、かつて上海や香港の金融機関で使われていた手形などが展示されています。

POINT

開館時間: 10:00-17:00、無料
SNS映えするスポットがいっぱい

螺旋階段



24mの大理石カウンター



四川中路 299 号

外灘書房 外灘書房/ワイタンシューファン

書籍にギャラリーを併設したブックカフェ。海派文化(生粋の上海文化)をテーマにした蔵書数は約1万冊に及び、読書会や文化サロンなどのイベントも不定期に開催されているので上海アートに触れられる場所としても楽しめます。

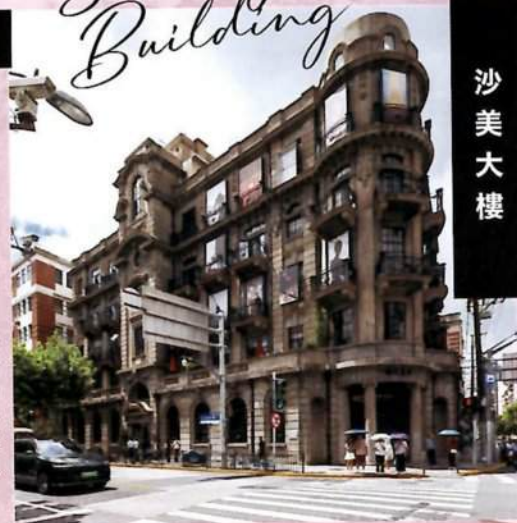
- 📍 濱池路110号
- 🚶 2/10号線「南京東路」駅6号出口から徒歩約5分
- 🕒 08:00~21:00

Cafe Time

北京東路 190 号

Sarmay Building

沙美大樓



1921年竣工の折衷主義様式建築

通和洋行(イギリスの建築設計事務所)と寧波出身の実業家応氏が共同で設計した、新古典主義とバロック様式の装飾が融合する折衷主義様式の建物。当初は沙美洋行の事務所棟であったことから、その名がビル名になっている。後に上海信託会社の本社として使用され、改修工事を経て2021年に複合施設として生まれ変わりました。

ギャラリーの後は、
路地裏のワフエでアート談義しよう

Cafe Time



DECK on THE BUND

沙美大樓内にあるカフェレストラン

四川中路周辺には、小さなギャラリーとおしゃれなカフェが点在しています。なかでもおすすめしたいのがこちら!沙美大樓内にあるカフェレストランで、クラシックな内装も素敵。2階席からは外灘の街並みを眺められます。

- 📍 住所: 北京東路190号1階101
- 🕒 10:00~21:00



02 四川中路 100年のアート史探訪

外灘芸術中心185空間

外灘芸術中心185空間/ワイタンイェーションシン185コンシエン

旧三井物産上海支店

外灘の川岸から約400m、四川中路185号にある外灘芸術中心185空間は、1903年に竣工したイタリア・ルネサンス様式の歴史的建築物です。上海市優秀歴史建築にも指定されています。設計を担当した平野勇造は三井物産の技師で、旧日本総領事館や、日本資本の紡績工場などの設計も手がけました。建物の外壁は赤レンガ造り、東側の壁にギリシャ式の三角形構造、三連窓、二連窓の組み合わせを取り入れ、軒下や玄関、窓などには精緻な彫刻が施されています。修繕を経て、建物本来のアーチ型レンガ壁などの特徴を残しながら、現代アートの要素も融合し、文化や芸術を発信する新たなランドマークとなっています。



平野勇造(日本)

平野勇造は米国で建築を学び、日本で初めて米国に留学した建築家の一人。外白渡橋のそばにある日本領事館、四川中路にある三井物産上海支店など、彼が上海で設計した建物は、上海史に置いて主要な建造物文化財となっています。

BAC 185
Space



Dark Matter
Ecology
玄栖



玄栖

2025.08.06~10.24

国際的に活躍する18人の現代アーティストたちが、インスタレーション、絵画、映像、サウンドなど多様なメディアを通じて、表層には見えない深層のテーマを探る展覧会。展覧会のインスピレーションは、「黒」の探求、「ダーク・エコロジー」の研究、「黒の正方形」の哲学的な解釈に由来する。なお、「ダーク・エコロジー」とは、イギリスの哲学者ティモシー・モートンが提唱した概念で、「自然なきエコロジー」とも訳される。また、「黒の正方形」はロシアの画家カジミール・マレーヴィチの代表作。キュレーターの曾明軍氏は巧みに、個人の内に潜む言葉にしがたい痛み、歴史に堆積した痕跡、そして人間の存在の境界といった壮大なテーマにへといざなう。

チケット 「BAC 艺术」のWeChatミニプログラムから展覧会を検索して購入。40元/人。



Dugout Brunch&Bistro(ダグアウト・ブランチ&ビストロ)

東方明珠の景色が美しいランチカフェ

テラス席から東方明珠の景色が楽しめる絶景カフェ。人気メニューは、三層のスフレパンケーキの間にポーチドエッグと厚切りベーコンが挟まれたベーコン&エッグスフレ。またこのカフェのスタッフは全員聴覚障害を持ち、非言語的なコミュニケーションを通じて温かく細やかなサービスを提供しています。

- 福州路19-2号
- 2/10号線「南京東路」駅6号出口から徒歩約10分
- 09:00~24:00

Cafe Time



1910~80年代の「モダニズム」に特化したインテリアギャラリー。世界各地のコレクター・美術館・公共機関などと協力して、中国でモダニズム文化を発信しています。2023年より「上海外灘芸術中心185空間」として公開されている。



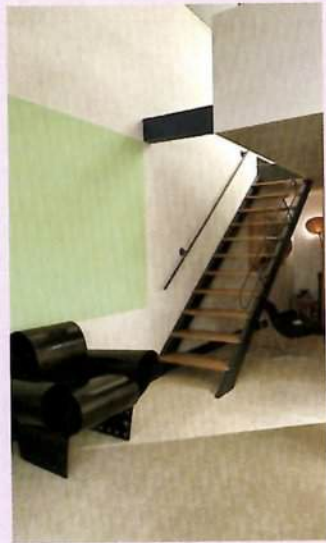
近くにある アートな家具屋さん



Maison Wave

1910~80年代の「モダニズム」に特化したインテリアギャラリー。世界各地のコレクター・美術館・公共機関などと協力して、中国でモダニズム文化を発信しています。企画展では、傑出した歴史的デザインと現代の空間とを融合させ、デザインの意義を改めて私たちに伝えてくれます。

- 四川中路181号内
- 11:00~18:00(定休日:月曜日)



【 02 四川中路 100年のアート史探訪 】

旧ドイツ郵政局大楼

四川中路 200 号

Former German
Postal Office



ギャラリーとして生まれ変わった 旧ドイツ郵政局大楼

1903年にドイツ人建築家の設計により建てられたドイツ・ルネッサンス様式の建物。上海市優秀歴史建築に指定されています。のちに華中電報局、上海電報局、民国交通電報局などのオフィスとして使われました。



中古家具バイヤーのHabiter Apartmentと、中国のアパレルブランドSoftServeのコラボレーション企画展「House of SoftServe」(2022年)が開催されたことも。

アート × 珈琲

STARBUCKS COFFEE

旧ドイツ郵政局大楼の近くにあるスターバックス。外灘すぐの好立地なのに人が少ないのでおすすめ。

- ☎ 四川中路 213号 102室
- 🕒 06:30~20:00(週末は7時~)



Cafe
Time

四川中路 33 号

旧中国企業銀行



周田芸術画廊 (7階)

庫比森画廊 (2階)

1930年代の最高峰建築、 四川中路の南端のランドマーク

1931年に竣工したこの建物は上海市優秀歴史建築に指定されています。もともとは中国人実業家である「マッチ王」劉鴻生が創業した中国企業銀行のオフィスビルで、大中華火柴公司(マッチ会社)の事業活動もここで行われました。8階建ての最上階は劉氏の住居兼仕事場だったそうです。1~2階には大きなアーチ型の窓が設置され、装飾的な金属細工が施されています。当時のビジネスエリートたちが行き交った空間に想いを馳せてみよう。

2階のキュビズムギャラリー
に行ってきました

Cub_ism_Artspace

キュレーションや文学創作といったバックグラウンドを持つ3名の「90後」(中国語で「90年代生まれ」を指す言葉)が2020年に立ち上げたギャラリーです。展示理念の第一に「キュビズム」を掲げ、刺激的な新興アーティストを紹介しています。

- ☎ 四川中路33号201-205室
- 🕒 11:00~19:00(月曜日閉館)





Bay Space
Burner Building

百空間
卜内門洋行

新古典主義の装飾や
修復技法にも注目

イギリスの大手化学メーカー・卜内門洋行が中国本部として1922年に建設した7階建てのビル。上海市優秀歴史建築に指定されています。イギリス新古典主義のヨーロッパルネサンス様式を模したスタイルに、バロックの装飾要素を融合した設計で、アーチ型のエントランスや、コリント式

の柱とペディメント(屋根の下の三角形の部分)などが特徴的です。5階にある元社長室は木製パネルや大理石の暖炉が修復され、当時の豪華さが再現されています。2020年にリノベーションされ、現在はオフィスやアートのスペースとして利用されています。

鉄製のエレベーター枠
が当時の面影を残す



四川中路 133 号



1階のギャラリー
に行ってみました

Bluerider ART

藍騎士芸術
台湾の実業家・王薇薇氏(Elsa Wang)が2013年に台北で立ち上げたギャラリー。展示は、上海、ロンドン、ロサンゼルス、台北の4都市のBluerider ARTを巡回する。

📍 四川中路133号
🕒 10:00~19:00(月曜日閉館)



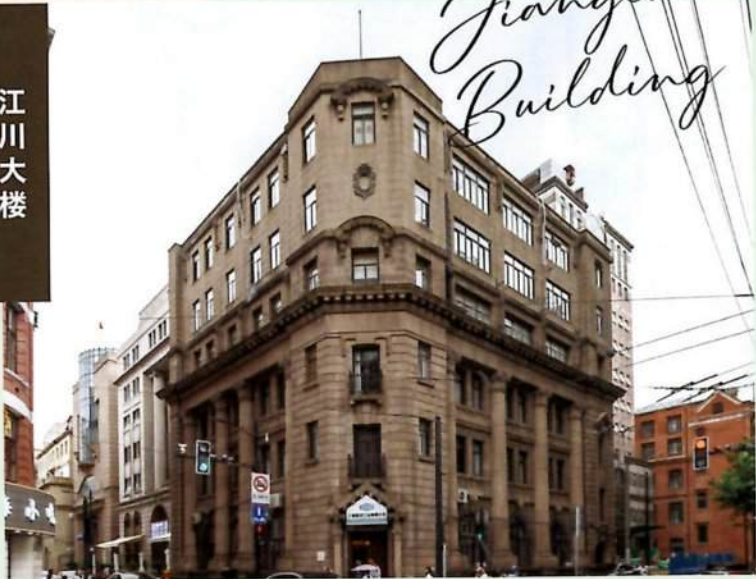
RENATHING

赤レンガに囲まれたアーチ型のヴィンテージ窓。そこから中をのぞいてみると、アートギャラリーのようなセレクトショップ。婦人服をメインに、中国だけでなくフランスや日本のデザイナーズブランドも販売しています。日本人作家の作品陶器など、定期的にニッチなアート作品も 展示販売しています。

03 タイムトラベル・アート散策

江川大
楼

*Jiangchuan
Building*



1916年に建築されたドイツ・アジア銀行

江川大建は、当時は高度な建築技術であった鉄筋コンクリート構造が使用され、シンプルながらエレガントな外装はヨーロッパ建築の魅力を存分に発揮しています。2005年には第2回上海市優秀歴史建築に選出され、今でもオフィスビルとしてその歴史を紡ぎ続けています。



SNAP芸術センター - 現代アート展

294号2階
劉璇: 懸閣劇場(無料展)
2025年08月08日-09月19日

劉璇の作品のテーマは「変換」。生命が授ける苦痛、歓喜といった感情や、神の啓示のような瞬間的なひらめきなどを、アートに「変換」させて表現しています。

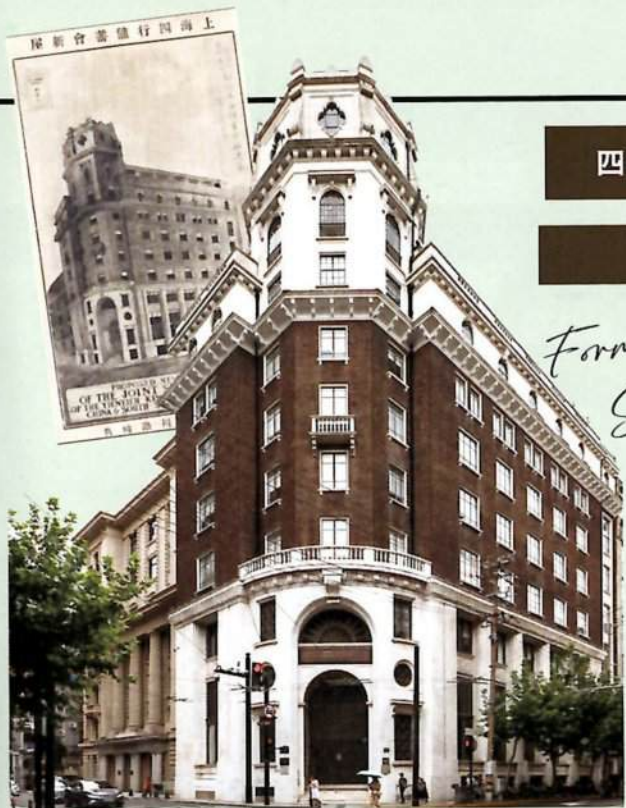


四川中路 294 号

四行貯蓄会大
楼

四川中路 261 号

*Former The Joint
Savings Society
Bank Office*



ヒューデックの初期作品
古典復興折衷主義の建築物

「四行貯蓄会」とは、当時の塩業銀行、金城銀行、中南銀行、大陸銀行の4行が共同で設立した組織のことで、四行貯蓄会大建は「聯合大建」とも呼ばれています。内部の補修工事を経て、2012年から上海銀行浦西支店として使用されています。1928年竣工。上海市優秀歴史建築に指定されています。

Cafe Time



現在は上海銀行浦西支店として使われている重厚感のある建物。1914年に製造された金庫室と金庫が保存されており、入口の上部にある「警鈴」の文字にも歴史を感じます。



東海咖啡館 东海咖啡馆/ドンハイカーフェイスグァン

1934年に開業、上海で最も古いカフェ

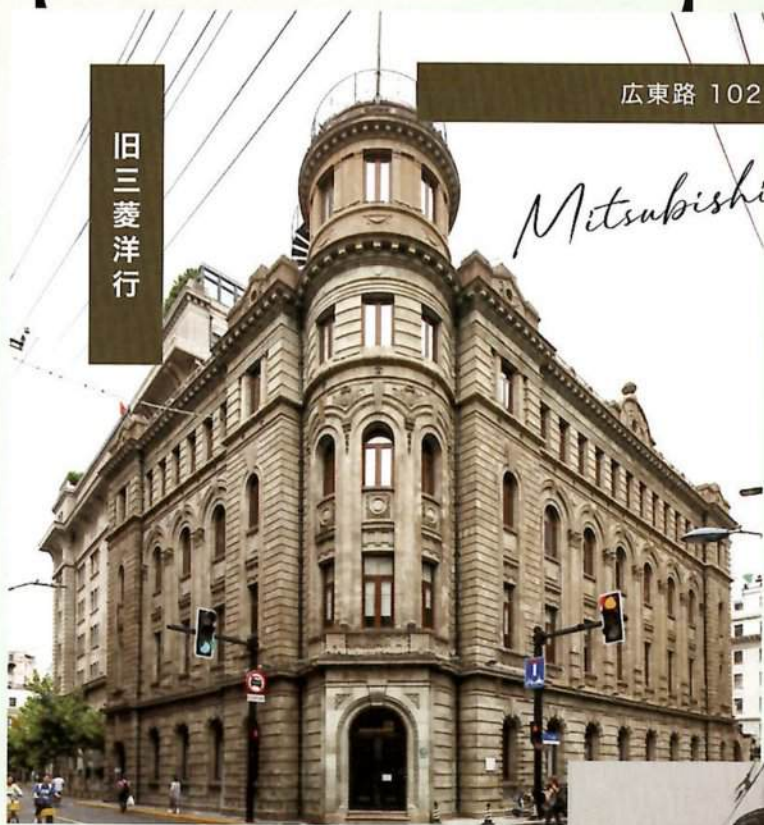
2021年に近くの別の場所から今の場所に移転。シャンデリアや家具など古き良き上海を思わせるレトロな雰囲気をもつカフェ。サンドイッチやステーキなどしっかりした食事でもできるおすすめスポットです。

浦池路110号 ● 08:00~21:00
2/10号線「南京東路」駅6号出口から徒歩約5分

旧三菱洋行

広東路 102 号

Mitsubishi Co.



4階建ての古典主義建築

このビルは当初、現在の三菱商事の前身である三菱洋行の上海支店として建てられました。三菱洋行は輸出入の事業を主としており、港が近く、ヨーロッパの企業も集まっていた四川中路は絶好のビジネス場であったのではないのでしょうか。第2回上海市優秀歴史建築に選出。日本人の福井房一氏により設計された建物ですが、その様式は古代ギリシャやローマの建築様式を理想とした古典主義建築となります。正面玄関に立つ8本の円形石柱は古代ローマの建築物を思わせるでしょう。

福井房一

福岡県出身。現在の工学院大学卒業後、ニューヨークの設計事務所で長らく設計の仕事に従事していました。その後、上海や漢口を中心に活動し、既に取り壊されてしまいましたが、当時の日本人の集会場所であった上海日本人倶楽部の設計も手掛けました。



四川中路 270 号

旧大清銀行

Former Ta China
Government Bank
Office



中国金融史の重要建築文化財

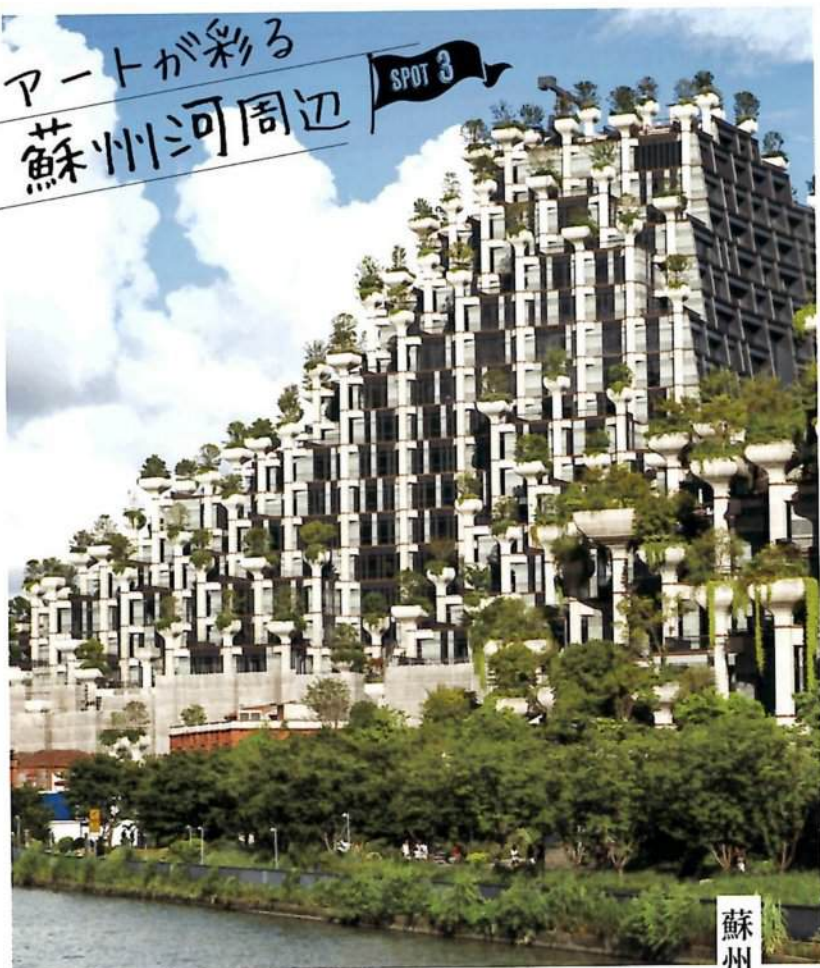
このビルは、北京に本社を置く大清銀行の上海支店として建てられました。大清銀行の歴史は清代、1903年に遡ります。清政府は代表団を日本に派遣し第五回内国勸業博覧会を視察するとともに大蔵省を訪問し、三井銀行の経営管理様式を視察しました。これに基づいて1905年に設立されたのが中国初の国家銀行である戸部銀行です。1906年大清銀行に改名された後、1912年に中国銀行に改組、貨幣制度の整備、紙幣発行などを主な業務とし、中国金融の発展に大きく貢献しました。

1912年1月3日、南京中華民国臨時政府成立後、大清銀行は中国銀行に改組され、これをもって大清銀行の歴史は幕を閉じられました。中国銀行は貨幣制度の整備、紙幣発行、国庫代理などの特殊業務を目的として設立され、中国初の中央銀行かつ第二の近代的銀行となりました。この歴史的建築物は中国銀行の発展の証であるだけでなく、中国近代金融史の重要な記憶も留めているのです。



アートが彩る
蘇州河周辺

SPOT 3



蘇州河 芸術の旅

蘇州河の水辺では、常に時代を先取る芸術の息づかいが感じられます。ギャラリーやスタジオが点在する沿岸エリアでは、パフォーミングアートや展示空間自体を一つの作品とするインスタレーション作品が空間を彩り、伝統と近代が激突するエネルギーがあふれています。

天安千樹

天安千樹/ティエンアンチエンシュ

中国上海市を流れる蘇州河、そのほとりにはかつて上海の工業発展を支えた製粉所があった。この製粉所の跡地に、1000本の樹木を冠した新しいランドマーク「Tian An 1000 Trees (中国語名: 天安千樹)」が誕生した。高低差のある樹木用のツリーポッド(鉢)が印象的だ。建物の外壁は雁行(がんこう)しており、上階に行くにつれて一段、また一段と後退する。緑の植物に覆われた都会のオアシスが、周囲の環境に溶け込んで「緑の山」のような視覚的効果を生んでいる。アラップは、ロンドン事務所と上海事務所が協働し、15年からこのプロジェクトの設計に携わってきた。

📍 莫干山路600号 ☎ 132-4831-8512
🚶 13号線「江寧路」駅1号出口から徒歩約10分



1000本の樹木がそびえる
中国・上海の大型複合再開発



おすすめは外灘原埠頭発着の「ぐるっと一周」ルート

所要時間 約60分 料金 100元/人

ルース 外灘源埠頭▷外白渡橋▷上海大廈(上海タワー)▷四川路/上海郵政博物館▷衍慶里▷上海四行倉庫抗戰紀念館▷四行倉庫埠頭(経由)▷福新面粉▷原旧址▷恒豊路橋/胡蝶湾花園▷昌平路橋▷上海紡織博物館▷M50創意園区▷昌化路埠頭(折り返し)▷西藏路橋▷河南路橋▷乍浦路橋▷外灘源埠頭

船は「上海印象」号と「時空之梭」号のどちらかを選べる。「上海印象」号はやや小さめで、レトロな屋根なタイプ。「時空之梭」号はやや大きめで、現代的な屋根ありタイプ。

チケット 現地購入またはWeChatミニプログラム「悠遊蘇州河」から事前購入





M50
Creative Park



Node cafe

2階建てのロフトデザインに無機質なインダストリアルスタイルを融合。風化壁に描かれたグラフィティが芸術的。レトロな雰囲気を漂う2階のレコードウォールはレコード収集家のオーナーならではの、おすすめは夏限定の「パイナップルスパークリングアメリカノ」。88元以上の注文でテラス席から蘇州河の景色を楽しめる。

- 📍 莫干山路50号22号楼3階
- 🕒 11:30~19:00 ☎ 130-5234-6080
- 🚇 13号線「江寧路」駅1号出口から徒歩約8分



上海で最も古い第一世代の
現代アートエリア

M50創意園

M50创意园 / エムウーリンチュアンイーユエン

ここは、クリエイティブなアートが日々多様なアーティストから誕生する空間です。周囲にはアトリエやギャラリーが立ち並び、インスピレーションを刺激させる一方で、カフェも多く、静かな時間を過ごせる場所でもあります。芸術家たちと直接触れ合うもよし、自分の作業に集中するもよし。特別な時間を過ごしたいあなたにぜひ訪れてほしい空間です。

- 📍 莫干山路 50号
- 🚇 13号線「江寧路」駅1号出口から徒歩約12分



BWT珀德水塔



八号橋芸術空間1908糧倉

八号桥艺术空间1908粮仓 / バーハオチャオ イーシューコンジェン1908 リャンチャン

ここは1908年に建設された旧中国通商銀行第二倉庫と杜月笙の私設糧倉でしたが、歴史的建造物の保護を目的としたリノベーションが行われ、アートスペースとして生まれ変わりました。作品鑑賞の後は3階のビールバー「ピアおばさん(啤酒阿姨)」で蘇州側の景色を堪能できる。

- 📍 蘇州路1247号2階
- 🕒 火曜~日曜 09:30~17:00
- 🚇 1号線「新聞路」駅1号出口から徒歩約3分



「莫干山路50号」の略である「M50創意園」。1930年代に建てられた紡績工場を利用したギャラリー街であるこの場所には、数多くの芸術家のアトリエがあり、まさに上海における現代アートスポットの集積地と言える。この場所の最大の魅力は、美術館とは異なり芸術家たちと直接触れ合えること。彼らの創作活動に見入るもよし、会話を楽しむもよしで、自分なりの楽しみ方を見つけてみては。

Art × Industry and Heritage

街に埋もれていた産業遺産が新しいアートスポットに

Suhehaus 蘇河皓司

Suhehaus 苏河皓司 / スーファーハオスー

通和洋行(イギリスの建築設計事務所)によって設計されたこの建物は、もとは中国実業銀行の倉庫として1931年に建てられ、上海市優秀歴史建築に指定されています。蘇州川沿いの金融倉庫群の中でもシンボリックな存在で、上海金融業の百年におよぶ歴史が刻まれています。2023年に新たなアートスポットとして再生。

- 📍 文安路30号
- 🚇 8/12号線「曲阜路」駅 2号出口から徒歩約4分
- 🕒 火曜日～土曜日: 10:30～18:00
- ☎ 184-6698-6387



UCCA Edge

2021年5月に開館した美術館で、静安区にあるEDGEタワーの3フロアを占めています。ニューヨークを拠点とする建築事務所 SO-IL による設計で、1,700 平方メートルの展示空間に加え、屋外テラスやロビー、オーディトリウムなどを備えています。UCCA グループの重要な拠点として、UCCA (ユークレンス現代芸術センター)は、北京・朝陽区、北京・北戴河、宜興、そして上海と4つの美術館を運営しており、中国を代表するアーティストだけでなく、国際的なアーティストの展覧会も開催しています。

- 📍 西藏北路88号盈訊文創広場2階
- 🚇 8/12号線「曲阜路」駅 2号出口から徒歩約4分
- 🕒 10:00～19:00 (月曜日は休館)
- ☎ 130-4411-2169

ギフトショップで人気の『賢者の言葉』
フラッシュペンダント



Cafe du Musee

Fotografiska 映像芸術センターに併設されているカフェ&バー。定番メニューのほか、オリジナルフレーバーのコーヒー、スムージー、昆布茶、ワイン、カクテルなどもあり、軽食もいただけます。

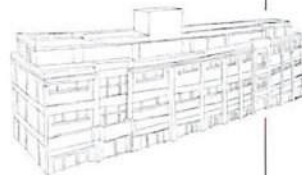


Fotografiska 映像芸術センター

Fotografiska 映像芸術センター / フォトグラフィスカインシヤンイーシュージョンシン

蘇州川沿いにある芸術センター。散歩しながら上海のアート&カルチャーを楽しむのに最適です。世界中の映像芸術を集めたこの空間では、世界的な映像作家の傑作や地元の前衛的なアートを堪能できます。展覧会を鑑賞した後は、アーティストと直接交流する機会も! 通常は夜 11 時まで開館しているので、旅行のスケジュールに組み込みやすいのも嬉しい。レストラン、バー、アートショップも併設されています。

- 📍 光復路127号
- 🚇 1号線「新開路」駅6号出口から徒歩約10分
- 🕒 10:30～23:00 (月曜日は休館) ☎ 184-6698-6513



Shanghai Suhe MixC World

上海蘇河湾万象天地

上海苏河湾万象天地 / シヤンハイヌーフワンワンシヤンティエンディーウーグワン

蘇州川のほとりに建つ複合施設。地下の商業スペースへと続く、緑地に開けられた「溪谷の開口部」が地上と地下をつなぐ。1930年代の石庫門建築群を修復・復元した慎余里、1884年に建てられた天後宮(江南式建築)、再開発で整備された公園からなるスポットです。



慎余里

慎余里 / シェンユリ

整備された現代的な環境と歴史的遺産が融合しています。

- 📍 福建北路100号 ☎ 132-4836-0658
- 🚇 12号線「天潼路」駅5号出口から徒歩約5分



都市の溪谷として設計された
地下の複合施設

美術館めぐり 立ち寄りたスポット

蘇州河にかかる橋、老白渡橋の両岸スポットの
アートスポットを巡る半日の散策コース。



China Securities Museum

中国証券博物館 (旧浦江飯店)

上海証券博物館 (旧浦江飯店)
/ シャンハイジェンチュエンボーウーグアン (シウブージョファンディエン)

各国の要人をもてなした歴史的ホテル

上海市優秀歴史に指定されている建物は、1946年に礼査飯店(中国初の西洋式ホテル)として建てられ、1858年に現在地へ移転。1959年に浦江飯店に改名された後(2017年閉館)、1990年には同所で上海証券取引所が産声を上げました。中国証券市場の誕生と成長に関する貴重な資料が展示されています。

- 上海市虹口区黄浦路15号(旧浦江飯店) ☎ 021-63246332
- 10/12号線「天潼路」駅3番出口から徒歩約900m 都市観光バス5号線で上海大復駅降車
61号線、100号線呉淞天潼路駅降車、東南方向へ徒歩約200m
- 入場料無料 事前予約 個人見学は予約なしで入館可



naive 理想国

naive 理想国 / naive リーシャングオ

昼間はブックカフェ、夜はバーに变身

外灘美術館から徒歩5分圏内に立ち寄りたおしゃれカフェがたくさん! 中でもオープンしたばかりの理想国はすぐお隣にあるブックカフェ。電源も確保できるので、仕事場として利用している人たちもちらほら。夜中の2時まで営業しているので、外灘の夜景を楽しんだ後に、バーとしても利用できる。おすすめは、トリュフチョコレートムース(48元)など。

- 月曜日から日曜日09:00~18:30、19:00~翌日02:00
- 平均支出: 61元/人 ☎ 132-6280-6963
- 虎丘路78号 地下鉄2/10号線「南京東路」6番口徒歩7分



上海郵政博物館

上海郵政博物館 / シャンハイヨウケンボーウーグアン

今でも現役の郵便局。郵政の歴史がスタートした場所で、歴史は民国時代の上海郵政総局、清朝末期の上海大清郵局にまで遡ります。

- 水曜日、木曜日、土曜日、日曜日9:00~16:00;
土日のみ全館の内部を見学可能、平日は博物館のみ一般開放
- 入場料無料 事前予約 個人見学は予約なしで入館可
- 021-63936666 上海市虹口区北蘇州路250号
- 10/12号線「天潼路」駅2番または3番出口

Shanghai
Postal Museum



大田秀則画廊

大田秀則画廊 / ダーティエンシウズーファラン



- 火曜日から土曜日: 10:00~18:00 日曜日、月曜日及び祝日は休館
- 見学無料 ☎ 021-33681321
- 上海市黄浦区虎丘路78号1階QL106号室(洛克-外灘源)
sh@otafinearts.com 公式サイト: <https://www.tafinearts.com/ja/> (英語、簡体字中国語、日本語)

日本発の世界的
アートギャラリー

オオタフインアーツは、1994年に大田秀則によって設立された日本の現代美術を主に取り扱う画廊です。2012年にシンガポール、2017年に上海に進出し、草間彌生などのグローバルアーティストの作品を展示しています。



外灘源 1号

外灘源壹号 / ワイタンユエンイーハオ



外灘で現存する最も古い建物

外灘には今も百年以上の歴史を有する欧風建築群がそびえ立ちます。その中で現存する最も古い建物は1849年竣工の外灘源壹号。1872年、上海に来た建築家GrossmanとBoyceによって英国領事館の建物として再建。英国ヴィクトリア女王時代の建築様式で建てられ、外壁は煉瓦作り、1階の中間部分に5つのアーチ窓を有する内廊下があり、2階は内廊下スタイルのベランダがあります。

新天安堂

新天安堂 / シンティエン/アンタン

窓を開ければ新天安堂教会が見える

テラス席に座ると夏の午後の微風を感じながら、通り沿いの古い建物の風景を見ることができます。レストランにピザ窯があり、手作りピザを味わえます。

- 黄浦区南蘇州路103号
- 全日無料開放ですが、内部は一般に公開していません。

造船工場が散策スポットに
楊浦濱江 SPOT 4



歴史とアートが

融合する空間

産業遺産の連なるこの街は、街全体が生きた博物館となっています。黄浦江の風を感じながら、上海ならではの「産業ロマン」をお楽しみください。

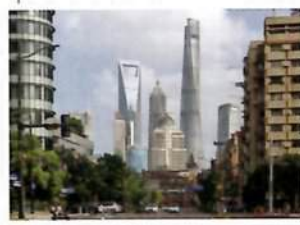


浦東と浦西を結ぶフェリー路線の一つ
其秦線
秦皇島路輪渡站～其昌棧渡口
運航時間/5:10～23:10(秦皇島路輪渡站)
5:00～23:00(其昌棧渡口)



秦同棧渡口から行くことができ、比較の人が少ない。北外灘エリアに属し、景色が美しい。

泰公線
公平路輪渡站～秦同棧渡口
運航時間/7:00～19:00(公平路輪渡站)
7:10～19:10(公平路輪渡站)



この航路では、歴史的な風景と現代的な風景のどちらも見ることができます。濱江でのサイクリングと組み合わせて利用すれば楽しさも倍増!

100年以上前の造船場をノベーションした

黄浦江沿いの散策スポット



Yangpu Riverside

楊浦濱江

楊浦濱江/ヤンブーピンジャン

北外滩エリアの川沿いリノベーションスポット。1900年にドイツ企業が建設した造船場の建物と、その敷地を利用した複合施設。造船工場として使われていた建造物内では定期的にアートイベントなどが開催される(開館時間、入場料はイベントによって異なる)。周辺は公園として無料開放されており、黄浦江沿いは散策やランニングするのに人気。100年以上前に建てられたレンガ造りの古い建造物や煙突など、建築に興味のある方はぜひ!



Shanghai Water
Exhibition Hall



浄水場の一部を科学技術館に!

上海給水科学技術博物館 シャンハイズーライシュイクージーグアン / 上海自来水科技馆

楊樹浦路と許昌路が交わる南側には「旧楊樹浦水場(浄水場)」がある。1920年代、英国資本の会社が建設した、英国の城砦を模した建物。今でも上海市の上水道として活躍中。1883年8月1日に落成した当時、15万人分の水道水を供給していた。

- 📍 楊樹浦路2866号
- 🕒 11:00~21:00 (平日) 10:00~21:00 (土日)
- 🚶 12号線「愛国路」駅3号出口から徒歩20分

Shanghai Fashion Center

上海国際ファッションセンター

上海国際时尚中心 / シャンハイグオジーシーシャンジョンシン

上綿十七工場の跡地に新しく建設されたショッピングモール。ジグザグ型の建物を生かしたデザインが特徴で、映画やテレビのロケ地に使われることも。東外灘の川岸は、古くから残る工場のリノベーションスポットとして注目されています。国際的なファッション交流のプラットフォームを提供しています。

- 📍 楊樹浦路2866号
- 🕒 11:00~21:00 (平日) 10:00~21:00 (土日)
- ☎ 021-6070-8200
- 🚶 12号線「愛国路」駅3号出口から徒歩20分

上海の繊維産業、ここに結集!

イチオシの「工場萌え」スポット!

楊樹浦電廠遺跡公園

ヤンシュープーディエンチャンイージーゴンユエン / 楊樹浦電廠遺跡公園

1913年に建設された楊樹浦発電所は、当時アジア最大の火力発電所で、上海の工業発展に大きく貢献した。2015年、環境保護の観点から閉鎖されたが、一部の建物と施設を保存したまま公園へと姿を変えた。古い工場の建物や大型クレーンなどが残され、夜にはライトアップされる。

- 📍 虬越路×平定路交差点の東側
- 🚶 12号線「陸昌路」駅3号出口から徒歩で約25分
- 🕒 08:00~17:00



1913年創建、極東最大の発電所

Yangshupu Power Plant

楊樹浦発電所

ヤンシュープーファアディエンチャン / 楊樹浦发电厂

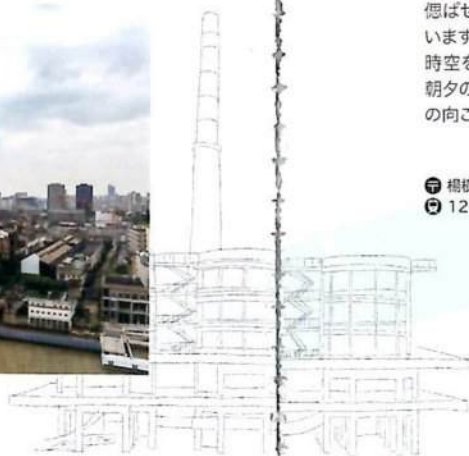
1911年に建設された上海初の火力発電所。2015年より始動された再生プロジェクトにより、「産業遺産×現代アート」を主題とした大規模なリノベーションが行われました。現在は、アート展として活用するだけでなく、サイクリングロード、テニスコート、バスケットコートを完備する文化的空間としての役割や、夜間にライトアップされる歴史的な煙突などで知られる観光スポットとしても注目を集めています。

煙突を思わせるデザインの
かっこよさに一目ぼれ

灰倉美術館

ホイツァンメイシューグアン / 灰倉美术馆

1913年にイギリス商社が投資して建設されたこの美術館は、豊富な工業遺構を残しています。105メートルの煙突はかつて船隻が上海港に入港する際の目印となり、江岸上に残るクレーン、石炭輸送用の棧橋、コンベアベルト、浄水タンク、湿式・乾式灰ホルダーなどの作業施設は、独特の空間構成と形態で印象的で、楊浦滨江沿いの貫通プロジェクトで重要な位置を占めています。



Youku Art
Park



創造的な雰囲気を感じることができる

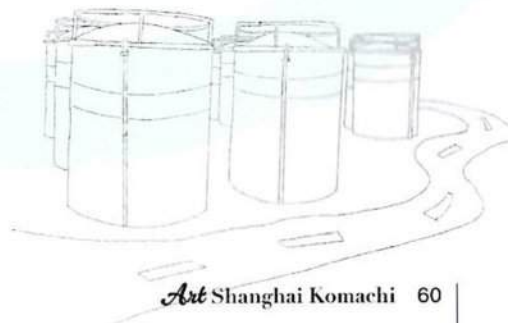
アートスポット

油酷芸術公園

ヨウクーイーシューゴンユエン / 油酷艺术公园

前身は1930年に建設されたアジア火油会社の倉庫で、建国後は中国石油定海ガソリンスタンドとなりました。徐匯浜江のオイルタンク芸術センターに比べ、こちらはより濃厚な工業雰囲気が漂い、タンク表面のさびた跡は歴史の重みを感じさせます。特に1937年建設の2基のオイルタンクは時代を偲ばせる証です。到る所に配管やバルブがあり、力強いライン美を演出しています。駐車場に放置された古い車両は80~90年代の雰囲気を漂わせ、時空を超えたような感覚を味わわせます。展望塔が改築された白い鐘塔は、朝夕の時空がここで交錯するかのようで、塔の上から眺めると、公園全域と塘の向こう側の復興島運河が一望できます。

- 📍 楊樹浦路 3024 号
- 🚶 12号線「愛国路」駅 3号出口から徒歩約25分





タバコ倉庫だった建物を緑化した斬新な商業施設

緑之丘站

リュージュ・チウジャン / 緑之丘站

屋上、壁面、内部を緑化した建物を中心とした公園のような商業施設。建物自体はそれほど大きくないが、デザイン性がある目を引く。内部も外観も、いろんな角度から撮影して楽しめそう。建物中央の大きな螺旋階段とグラスウォールがおしゃれ。

- 📍 楊樹浦路2866号
- 🕒 11:00~21:00 (平日) 10:00~21:00 (土日)
- 🚶 12号線「愛国路」駅3号出口から徒歩20分



かつての紡績工場が展示場に

上海船廠毛麻倉庫

シャンハイチュアンチャンマオマーツァンクー / 上海船廠毛麻倉庫

この辺りの発展の歴史は、1898年頃にドイツの商人が興した「瑞記紡績工場」に始まる。閉鎖されていた工場敷地の建物が改修工事を経て、展示場となった。陽浦濱江エリアの主要スポットの一つ。

- 📍 楊樹浦路468号
- 🚶 4号線「楊樹浦路」駅2号口徒歩約5分
- 🕒 メイン展示館の開館時間: 14:00~20:00 (月曜閉館)



Shanghai Maoma Warehouse

Jardine
1915

タバコ倉庫だった建物を緑化した斬新な商業施設

怡和 1915

イフォー 1915 / 怡和 1915

かつては工場の社員寮として使われていた場所をカフェに。黄浦江に面した庭園には柚子の木が生い茂り、お散歩コースの休憩タイムに最適な場所。キュートなコーヒーアートも癒しのひとつ。

- 📍 楊樹浦路1056号
- 🕒 10:00~17:30
- ☎ 021-5509-1777
- 🚶 18号線「丹陽路」駅2号出口から徒歩約8分

Jardine はフランス語で庭を意味

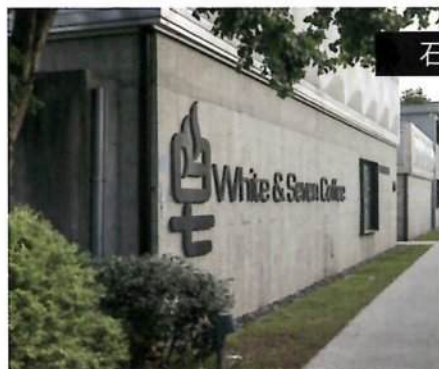
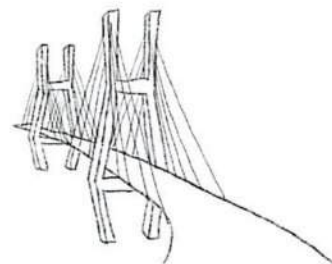


白七珈琲 WHITE SEVEN COFFEE

バイチーカーフェイ WHITE SEVEN COFFEE / 白七珈琲 WHITE SEVEN COFFEE

北外滩から南浦大橋に向かって歩くと、ちょうど歩き疲れた頃にこのカフェが見えてくる。昔の石鹸工場をリノベーションしたカフェで、工場の構造を活かした個性的な空間。カフェスペースと展示スペースが繋がっていて、内部は石鹸に関連する要素が散りばめられている。

- 📍 平定路1号 ☎ 180-1627-3755
- 🕒 10:00~17:30
- 🚶 12号線「陸昌路」駅3号口から徒歩約30分



石鹸工場だった場所でコーヒータイム



かつての紡績工場が展示場に!



八万吨筒倉美術館

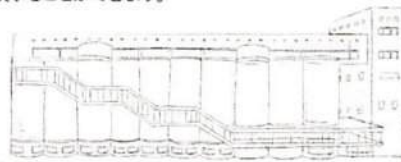
パーワドゥントンチュアンメイシュエグアン/八万吨筒倉美術館

80,000-ton cylinder art center

民生埠頭の伝統的な機能はすでに歴史の舞台から退場し、全体的な改修を通じてオープンスペースが構築され、穀物倉庫から展示場や芸術スペースへと機能を転換し、浦東浜江の文化芸術の新しいランドマークとなりました。高さが非常に高いため、サイロの外側に外部エスカレーターが追加され、人々はエスカレーターに乗って黄浦江の景色を一望することができます。天下の穀物倉庫から芸術スペースへの大きな変身により、民生埠頭のサイロは新たな生命を吹き込まれています。10基の巨大なサイロの外側には一連の外部エスカレーターが設置されており、観光客は3階から直接エスカレーターに乗って最上階の展示場へ行くことができ、途中で黄浦江や民生埠頭全体の雄大な景観を満喫することができます。

📍 民生路渡口の隣

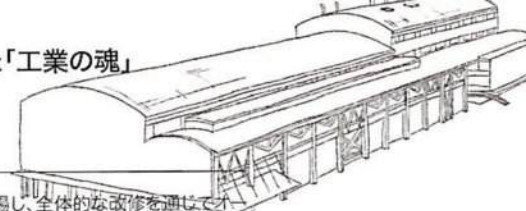
🚶 6号線民生路駅1号出口から徒歩で約20分



隈研吾が8万枚の赤れんがで封印した「工業の魂」

船廠 1862

船廠1862/チュアンチャン



民生埠頭の伝統的な機能はすでに歴史の舞台から退場し、全体的な改修を通じてオープンスペースが構築され、穀物倉庫から展示場や芸術スペースへと機能を転換し、浦東浜江の文化芸術の新しいランドマークとなりました。高さが非常に高いため、サイロの外側に外部エスカレーターが追加され、人々はエスカレーターに乗って黄浦江の景色を一望することができます。天下の穀物倉庫から芸術スペースへの大きな変身により、民生埠頭のサイロは新たな生命を吹き込まれています。10基の巨大なサイロの外側には一連の外部エスカレーターが設置されており、観光客は3階から直接エスカレーターに乗って最上階の展示場へ行くことができ、途中で黄浦江や民生埠頭全体の雄大な景観を満喫することができます。

📍 濱江大道 1777 号 🚶 14号線「浦東大道」駅6号出口から徒歩約10分

MIFA 1862



黄浦江に面してたつ1972年に完成した、レンガで作られた造船工場を、劇場、リテイラーの複合建築として保存、再生した。巨大な船のスケールを感じさせる、高さ20m、長さ150mの「孔」が建築の中心部を貫き、その中心に、既存建築を支えていたコンクリートの列柱が並ぶ印象的な空間を作った。西側の端部ファサードは、有孔レンガをφ8mmのステンレスワイヤで固定して作った半透明のスクリーンで覆われ、レンガの密度はグラデーションに変化する。東側の端部の劇場は、ステージの背後を巨大なガラスの面とし、カーテンをあけると、黄浦江が眼の前に出現するという演出が可能となった。



造船所横の浜江大通りは夕日観覧の絶好スポット!

向岸の浦西のビル群が夕陽の余韻でピンクに染まり、夜が訪れると街全体のライトが輝き始め、高層ビルが林立する姿は圧巻の迫力を放っています。

Art **別冊 上海小町**
by the River



ご覧いただきありがとうございます！